

平成 28 年度

# 事業概要

社会福祉法人 かながわ共同会

厚木精華園

平成 28 年度事業概要を取りまとめましたので、ご高覧いただければ幸いです。

平成 28 年度は指定管理による施設運営の第二ステージの初年度となり、更なる「支援・介護・看護」による統合的なケア等の充実を目指した 1 年となりました。併せて障害者差別解消法が施行され、アクセシビリティ（accessibility：障害者等誰もが様々な製品や建物・サービスを支障なく利用できる度合い）をキーワードとする取組みが始まりました。

当園のサービス利用者は、年度末現在 343 名（施設入所支援 111 名・生活介護 159 名・共同生活援助 38 名・厚木身体障害者等生活介護 35 名）であり、1 年間の新規契約は 13 名で、退所者は 10 名、うち 8 名死亡・療養型病院転院 2 名で、平均年齢は 67 歳となっています。利用者の高齢化や障害の重度化に寄り添う支援の充実のため、シャワーストレッチャー等福祉機器の導入や高齢者支援セミナーのテーマを「高齢者を知る」とし年間 12 回開催し、323 名の受講があり、高齢の知的障害者支援のノウハウの発信にも取組みました。

地域連携では、障害者協議会荻野地域防災ワーキングリーダーとして防犯・防災活動における地域連携に取組み、地域ニーズに対応した応急手当普及員派遣を 2 回、理学療法士派遣を 19 回等地域貢献の促進を図りました。

在宅の障害者支援の一環として、サービス等利用計画策定等の相談支援事業や厚木市の障害支援区分認定調査にも取組み、厚木身体障害者等生活介護事業では養護学校卒業生の新規受入れ等年間延 3,302 人の利用となりました。

最後に、平成 28 年度は津久井やまゆり園での事件を受け、事業等自粛した運営となりましたが、平成 29 年度は、当園も同法人の運営施設として津久井やまゆり園の再生に取組むとともに、よりきめ細やかな寄り添う支援の充実のために、努力してまいります。今後ともご理解・ご協力をお願い申し上げます。

平成 29 年 9 月

園長 平嶺 一昭

## 目 次

社会福祉法人かながわ共同会基本理念等	1
<b>I 概 況</b>	
1 施設概況と運営方向	2
2 支援体系図	6
3 会議体制	7
4 年間行事実施状況	8
5 防災訓練計画実施状況	10
<b>II 施設支援</b>	
1 生活課の状況	11
2 委員会報告	14
3 医療・看護	22
4 給食業務の状況	29
5 苦情解決	31
<b>III 地域支援</b>	
1 短期入所事業 日中一時支援事業	32
2 相談支援	32
3 生活介護事業	33
4 厚木身体障害者等生活介護事業所『とまと』	35
5 ボランティア	36
6 福祉的就労	36
7 共同生活援助事業（グループホーム）	37
8 相談支援事業	39
<b>IV 研 修</b>	
1 研修報告	40
2 実習生・研修生受入れ	45
<b>V 家族会活動</b>	46
<b>VI 後援会活動</b>	47
<b>VII その他</b>	
1 平成27年度運営状況(実績)	48
2 厚木精華園の経営状況	49
3 地域サービス事業取組み状況	50

## 社会福祉法人かながわ共同会基本理念等

### (1) 基本理念

社会福祉法人かながわ共同会は、誠実と信頼を旨とし、人権に根ざした利用者本位の考え方に立ち、多様なニーズに対応する支援体制の整備、サービスの量的、質的充実につとめ、利用者と地域社会の繁栄に貢献するとともに、社会的な法人としての価値を創造していきます。

### (2) 経営の基本方向

- ①事業活動に対する基本的姿勢の確立
  - ア 公共的、公益的取り組みの推進
  - イ 組織的運営の確立
  - ウ 財政基盤の安定に視点を置いた経営の推進
  - エ リスクマネジメントの充実強化
- ②県立民営（指定管理者）施設としての特徴の発揮
  - ア 先駆性、迅速性及び柔軟性の発揮
  - イ 四施設の独自性の発揮と有機的連携の推進
- ③障害者総合支援法への積極的な取り組み
  - ア 新事業体系への円滑な移行
  - イ 地域生活移行の計画的推進
  - ウ 就労支援の強化
  - エ 地域のニーズに根ざした新規事業の積極的取り組み
- ④利用者への更なる支援の充実強化
  - ア 人権の尊重
  - イ サービスの質の向上
  - ウ QOLの推進
  - エ 社会参加の積極的推進
  - オ 医療支援の共有化の推進
- ⑤地域社会とともに歩む福祉づくり
  - ア 地域との共生の推進
  - イ 社会的ルールの遵守
  - ウ 説明責任の徹底
  - エ 利害関係者との適切な関係の保持
  - オ 市町村との連携強化
- ⑥積極的・総合的な人づくりの推進
  - ア 総合的研修システムの確立と実施
  - イ 適切な人事・労務管理の実践
- ⑦その他
  - ア 新たな福祉ニーズの開発及び研究

# I 概況

## 1 施設概況と運営方向

厚木精華園は中高齢の知的障害者が、心豊かで充実した生活を施設の内外で送れるようにとの目的で、神奈川県により平成6年7月1日に設置されました。

厚木精華園は、知的に障害のある人の基本的人権（自由権、平等権、社会権、請求権、参政権）を守り、利用者中心の支援に努め、自己選択・自己決定を尊重し、障害のない人と同じような普通の暮らしができる施設としてノーマライゼーションを目指します。

### (1) 基本理念—地域福祉発展のために

厚木精華園は、中高齢の知的障害者が、心豊かで充実した生活が送れるように支援します。この目的を施設の内外で達成するため、地域福祉や、在宅サービスに積極的に取り組み、支援システムの確立のため、調査・研究を行うなど、県下のモデル施設を目指します。

### (2) 経営方針—利用者の立場にたって

厚木精華園は、中高齢の知的障害者が、心豊かで充実した生活が送れるように個別ニーズを尊重し、利用者主体の施設運営に努めます。また、広く関係者の理解と協力のもとに、施設生活の質（QOL）の向上を図り、その方法を開発し、弾力的な運営に努めます。

### (3) 定員

#### ア 指定管理事業

施設入所支援	110名
短期入所	2名
生活介護	140名

#### イ 自主事業

共同生活援助（11ホーム）	48名
厚木身体障害者等生活介護	20名
日中一時支援	概ね2名
指定特定相談支援事業	



## (6) 厚木精華園重点目標

### ア 施設運営、経営の強化を図る。

- ・ 予算執行管理と遂行に努め、備品の更新、改修工事、防犯対策等の環境整備の充実に努めました。
- ・ 各課協力体制の強化とより良い利用者支援に努めました。
- ・ 高齢者支援セミナーを毎月開催し35団体の登録、323名に参加、見学は、県内外より5団体、41名の見学者を受入れました。

### イ 利用者支援の充実に努める。

- ・ 食中毒防止マニュアル等を活用した安心、安全な食事提供の取組みと栄養ケアマネジメント導入に向けてプロジェクトを立ち上げて検討し平成29年度導入に向けて取組みました。
- ・ 温冷配膳車を6月から導入し適温での食事提供を開始、入浴設備ではシャワーストレッチャーを導入しました。
- ・ 罪を犯した知的障害者の受入れの研修に職員1名が参加し神奈川県地域定着支援センターと連携し矯正施設から新規に入所を1名受入れました。
- ・ 終末期支援プロジェクトを立ち上げ、死の準備教育、看取りについて研修会、施設見学を実施し「延命処置に関する希望カード」、「葬儀マニュアル」を作成しました。平成29年度も継続して取組みます。

### ウ 権利擁護、虐待防止への取組み。

- ・ 主任会議成年後見分科会にて進行管理、課題を整理し啓発活動の研修会を家族会にて行い96名の方の選任を確認しました。
- ・ 利用者の意思を反映した食事提供、嗜好品の提供、余暇活動の取組みを実施しました。
- ・ 人権委員会、利用者自治会、虐待防止委員会、オンブズマン相談会を毎月実施し非常勤向け人権研修、外部講師による人権研修を実施しました。

### オ 地域との積極的な連携を図る。

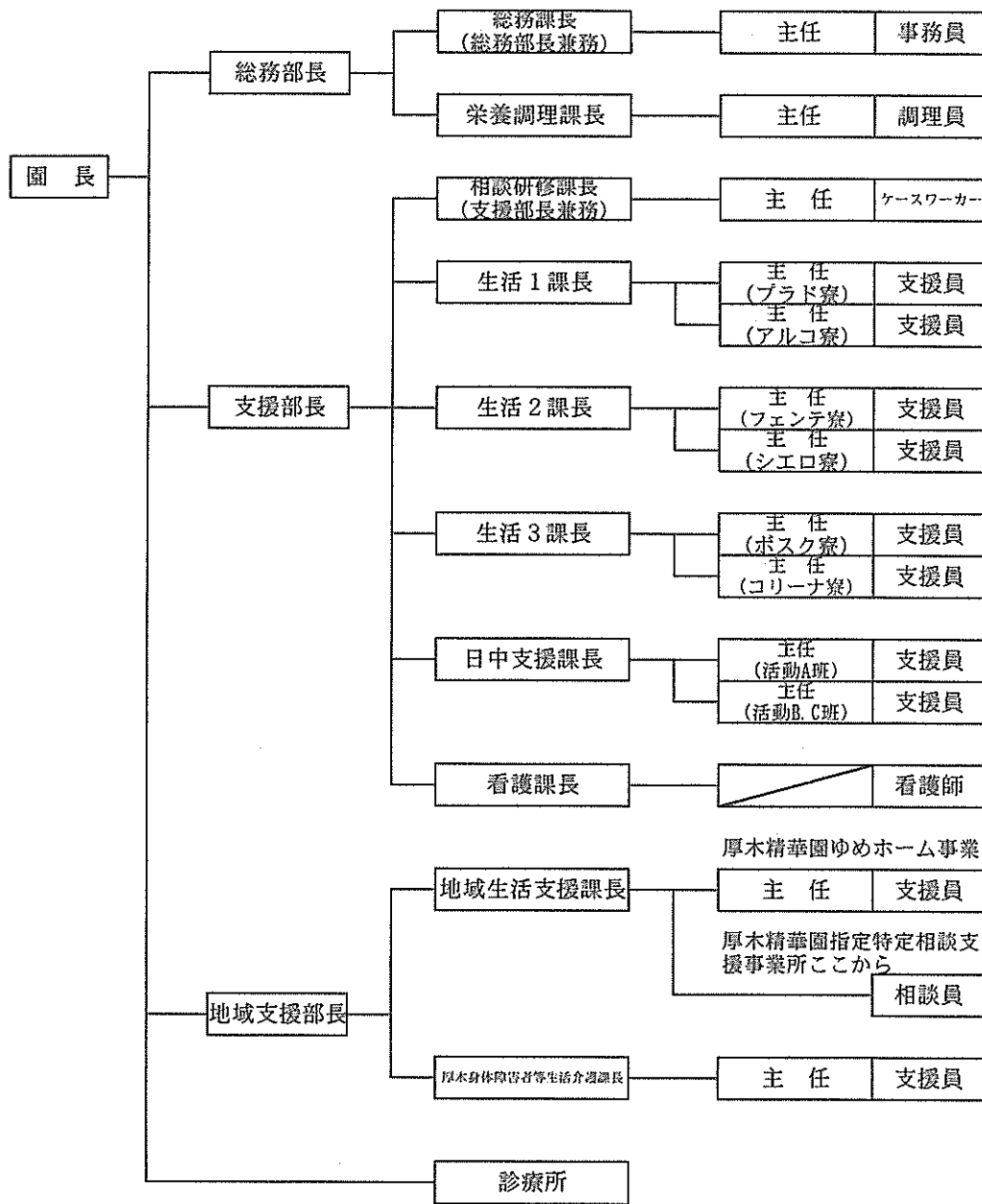
- ・ 障害者理解や地域貢献を目的に各事業を積極的に展開しました。  
(地域サービス事業に関しては諸事情により見合わせた事業あり。)
- ・ 地元自治会、行政等関係機関と連携し荻野地区の防災体制構築に向けて取組みました。
- ・ 厚木市委託障害者相談支援センターとして地域包括支援センターと協働したアウトリーチ等の取組みを実施しました。

### カ 自主事業の安定的経営と機能強化を図る。

- ・ 厚木身体障害者等生活介護事業所「とまと」に係る厚木市補助金については平成29年度から平成31年の3年間の補助金額を平成28年度と同額確保することができ、経営の安定化の見通しがつきました。また利用実績においては特別支援学校卒業生2名が新たに利用開始され、前年比1.08倍、延べ247件増の利用実績でした。
- ・ 共同生活援助事業においては利用者特性に応じた環境整備のために1年間をかけて平成29年度4月に3ホームを閉鎖し、11ホームから8ホーム(定員48名→40名)に再編成する準備を行うとともにスプリンクラー設置に係る補助金申請を行いました。

(7) 組織及び職員配置 (平成29年3月31日現在)

組織図

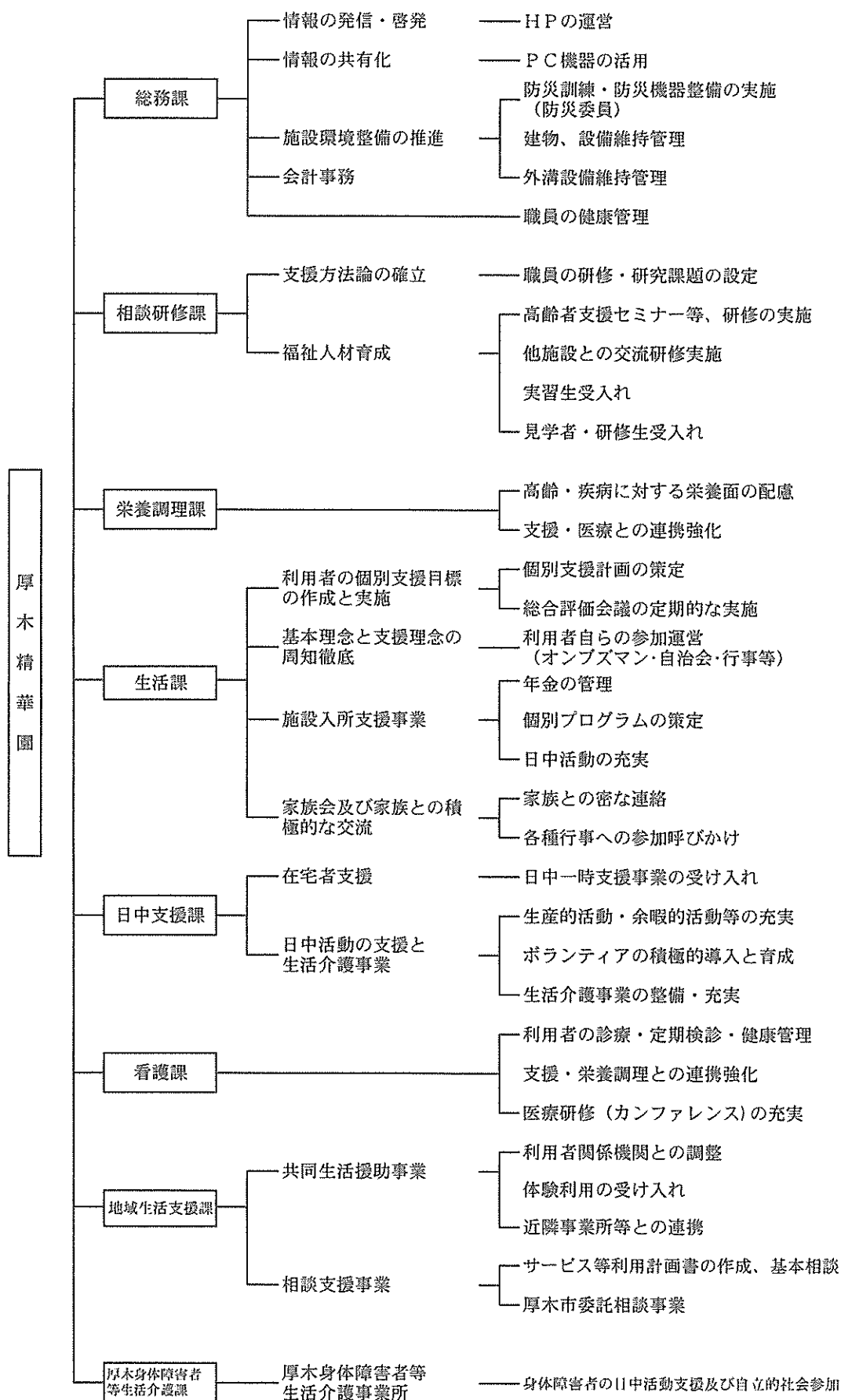


職員数

		常勤	臨任	非常勤 パート	福祉的 就労	計
総務部	園長・部長	2				2
	総務課	2	1	1		4
	栄養・調理課	4	1	8	1	14
支援部	部長	1				1
	相談研修課	1				1
	生活1課	19	2	4		25
	生活2課	18	2	4		24
	生活3課	14	1	2	1	18
	日中支援課	6		13		19
	看護課	3	1	2		6
地域支援部	部長	1				1
	地域生活支援課	7		45		52
	厚木身体障害者等生活介護課	4		9		13
計		82	8	88	1	180



## 2 支援体系図



### 3 会議体制

会議名	協議内容	構成員	開催
全体職員会議	全職員に関わる重要事項 セクション間の調整事項 園内外の情報の確認	全職員	6回/年
運営会議	園運営上の重要事項	園長 部長 課長	2回/月
経営会議	園経営上の重要事項	園長 部長 課長 課員	4回/年
主任会議	利用者支援に関する調整事項	担当課長 主任	1回/月
課会議	課運営に関わる事項	課長 主任 課員	1回/月
グループリーダー会議	利用者支援、アセスメントに関する事項	課長 主任 グループリーダー 課員	1回/月
モニタリング会議	個別支援計画の見直し	課長 主任 課員	1回/月
連絡会	利用者の状況、日課、外出等の確認・伝達、来客、職員その他の日程等の確認	園長 部長 課長 課員	毎日
サービス利用調整会議	入退所に関する事	園長 部長 課長 課員	1回/月
利用者自治会	利用者の自治に関する事 納涼居酒屋に関する事	利用者 担当職員	1回/月
健康委員会	利用者の健康に関する事	看護師 調理員 支援員	1回/月
医療安全委員会	医療的ケアに関する事	園長 看護課長 支援員	1回/月
衛生委員会	職員の健康管理に関する事	総務部長 衛生管理者 担当職員	1回/月
食事委員会	利用者の食事に関する事 食事に関する利用者支援全般に関する事	栄養調理課長 看護師 支援員	5回/年
防災委員会	防災に関する事	防火管理者 担当職員	1回/月
人権委員会	利用者の人権擁護に関する事	担当課長 担当職員	1回/月
情報ネットワーク委員会	パソコン管理等に関する事	総務部長 担当課長 担当職員	6回/年
広報委員会	ベルデカーレの編集に関する事	担当課長 担当職員	7回/年
リスクマネジメント委員会	インシデントレポートの集計・分析 事故報告に関する事	担当課長 看護師 支援員	1回/月
研修委員会	園内の研修に関する事 法人研修との連携	担当主任 担当職員	11回/月(8月を除く)
終末期支援プロジェクト	終末期支援に関する事	園長 担当部長 担当課長 担当職員	1回/月
プロジェクトあしたII	地域生活、成年後見に関する事	園長 担当部長 担当課長 担当職員	1回/月

\*ラ・フェスタ委員会等各種行事委員会あり

\*法人規模の委員会を別開催

#### 4 年間行事实施状況

月	主要事業・行事	家族会・後援会	地域支援・園外行事
4	01 対面式 04 新採用研修	10 家族会全体会	10 厚木市民吹奏楽団演奏会
5	23 法人評議員会 24 理事会	08 家族会総会 後援会総会	14 ふれあいフェスティバル 24 A ネット総会 25 地域交流レクリエーションDAY
6	24 デザートテラス	12 家族会親睦日帰り旅行	15 高齢研合同高齢者支援セミナー
7	13 夏まつり 2016	10 家族会全体会	
8		07 家族会課別懇談会 (お盆法要実施)	
9	07 長寿の祝い	06 臨時後援会 役員会 25 家族会全体会	
10	08 寅次郎アモーレコンサート 12 地区別評議員会	08 寅次郎アモーレコンサート参加	20 地域交流レクリエーションDAY
11	16 法人評議員会 18 理事会	13 家族会全体会	09 高齢研合同高齢者支援セミナー
12	14 クリスマス会	11 家族会全体会	
1	04 仕事始め 19 オープンセミナー	15 家族会全体会	
2	08 デザートテラス	15 家族会全体会	
3	06 法人評議員会 07 理事会 31 退職辞令交付	12 春の宴 10 後援会 役員会	04 A ネットセミナー 17 ボランティア懇談会 18 地域コンサート

\* 防災訓練は、別項報告参照



夏まつり



長寿の祝い



長寿の祝い (食事)



「ア・モーレ」コンサート



クリスマス会

## 5 防災訓練計画実施状況

大規模な地震や火災・自然災害(風水害)が発生した場合を想定すると、人的被害並びに建物設備等の物的被害が予想されます。その予防と被害を拡大させないために、年に12回の避難訓練を実施し、消火訓練や通報訓練を中心としながら、地震想定訓練・非常食の炊き出し訓練等も実施しました。厚木市とは「災害時における障害者の緊急受入」に関する協定書を締結し、災害時には市内の在宅障害児者を受け入れる体制を整えています。福祉避難所としての受入れ体制の構築・防災備品の補充を行ないながら、災害時にはお互いに協力し合えるように連携を取り合うための継続した訓練を実施しました。

### 防災訓練実績

4月1日	金	15時30	新採用・転入職員への消防設備等の説明	総務課
4月25日	月	13時40	通報訓練(消防署・模擬、園内放送)、避難訓練	生活1課
5月12日	木	14時00	グループホーム避難訓練(ゆり・あやめ・そら)	地域生活支援課
5月27日	金	13時40	通報訓練(消防署・模擬、園内放送)、避難訓練	生活2課
6月29日	水	13時40	通報訓練(消防署・模擬、園内放送)、避難訓練	総務課
7月1日	月	14時00	グループホーム避難訓練(すみれ・いずみ)	地域生活支援課
7月28日	木	13時40	通報訓練(消防署・模擬、園内放送)、避難訓練…実施せず	日中支援課
8月24日	水	13時40	通報訓練(消防署・模擬、園内放送) 避難訓練(夜間想定…避難できるよう火元から離れる)	生活3課
9月1日	木	11時00	地震・火災総合訓練(かながわシェイクアウト) 地震対策本部訓練 アルソックシステムによる通報訓練	総務課
9月2日	金	14時00	グループホーム避難訓練(ひのき)	地域生活支援課
10月26日	水	13時40	通報訓練(消防署・模擬、園内放送) 避難訓練(夜間想定…避難できるよう火元から離れる)	生活1課
11月11日	金	14時00	グループホーム避難訓練(めい)	地域生活支援課
11月22日	火	14時00	放水訓練(消火栓等の使用方法)	日中支援課
11月30日	水	13時30	法人総合防災・防犯訓練 アルソックシステムによる通報訓練	日中支援課
12月16日	金	10時00	通報訓練(消防署・模擬、園内放送)、避難訓練 非常食炊き出し訓練	栄養調理課
1月18日	月	14時00	グループホーム避難訓練(はな・あおぞら)	地域生活支援課
1月20日	金	13時40	通報訓練(消防署・模擬、園内放送)、避難訓練	日中支援課
2月20日	月	13時40	通報訓練(消防署・模擬、園内放送) 避難訓練(夜間想定…避難できるよう火元から離れる)	生活3課
3月23日	木	14時00	グループホーム避難訓練(さくら・ゆめ)	地域生活支援課
3月28日	火	13時40	通報訓練(消防署・模擬、園内放送)、避難訓練	総務課

## II 施設支援

### 1. 生活課の状況

#### 1 課利用者状況

(単位：人) 平成29年3月31日現在

性別		女性38名（短期利用者および日中一時利用者は除く）						
年齢階層	60歳未満	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	計
	8	2	12	6	5	6	1	40
障害支援区分	区分3		区分4		区分5		区分6	
	0		5		9		26	
身体状況	視聴覚	肢体等	吸引	胃ろう・経鼻	補装具 使用者	常時車椅子	外出車椅子	歩行器
	5	12	4	2		22	6	1

#### 2 課利用者状況

(単位：人) 平成29年3月31日現在

性別		男性37名（短期利用者および日中一時利用者は除く）						
年齢階層	60歳未満	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	計
	10	3	11	5	6	1	1	37
障害支援区分	区分3		区分4		区分5		区分6	
	1		3		11		22	
身体状況	視聴覚	肢体等	吸引	胃ろう・経鼻	補装具 使用者	常時車椅子	保護帽	歩行器
	4	18	3	2		16	8	3

#### 3 課利用者状況

(単位：人) 平成29年3月31日現在

性別		男性28名（短期利用者および日中一時利用者は除く）						
年齢階層	60歳未満	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	計
	11	4	7	8	2	1	1	34
障害支援区分	区分3		区分4		区分5		区分6	
	4		10		11		9	
身体状況	肢体等	その他	吸引	胃ろう・経鼻	補装具 使用者	常時車椅子	保護帽	歩行器
	3	3	0	0		3	4	1

生活課は3課体制で支援しています。1課が女性、2課・3課が男性で構成されています。利用者数は3月末現在、女性38名、男性71名となっています。

平成28年度は、入退院を繰り返す方や身体機能の低下（特に拘縮や褥瘡等）が多くみられました。また、医療的ケアの範囲を超えた深い吸引や常時点滴が必要な状況になり2名が療養型病院へ移行されました。平成28年度は男性5名女性2名がご逝去されました。

利用者全体の介護内容が多様化・増加している中で、人生のラストステージを迎えようとしている利用者への個別支援をどう実施していくかが引き続き大きな課題になっています。

#### (1) 食事

毎日の食事では、利用者の嗜好を尊重した「個別対応食」や、嚥下困難な方への配慮（普通食、カット食、とろみ食、口どけ食等）を生活課、看護課、調理課との連携で進めてきました。また、食事支援を必要とされる方が年々増加しているため、より安全な環境で食事提供できるよう、定期的に食事席の見直しや介助方法の見直し等を行いました。



## (2) 入浴

高齢化による急激な体調の変化、介護度、障害特性、交友関係などを考慮した上でグループ分けを行い、個々に最適と考えられる浴室(一般浴室、リフター付浴室、機械浴室)での入浴を実施しました。生活1課では午前と午後の2回実施、生活2課では午後2箇所2回の実施、生活3課では午後1回、夕食後1回の2回実施しています。利用者の重度化、高齢化に伴い機械浴での入浴者が増加傾向にあり、生活介護サービスの枠内で入浴が実施できる体制づくりを図ってきました。より「安全」で「快適」な入浴時間を提供できるよう、利用者数、職員数、回数等が適正かどうかを検討しました。

## (3) 余暇・外出

個別のニーズに沿って支援を進めました。美容サービス(ネイル)、介護マッサージ等の定期利用の他、喫茶プティ・デザートテラス・ファミリーマート販売会・ヨーカ堂販売会・映画会・音楽会・カラオケ・レクリエーション等も余暇支援として取り組みました。

介護度の上昇、通院回数の増加等により外出の機会は減少しましたが、可能な限り個別での外部事業所の利用、職員等によるガイドヘルパー制度の活用により、その機会を最大限確保するよう努めました。また職員同行の外出は、昼食外出・買い物外出が大部分を占めましたが、本人の気持ちを汲み家族と調整を諮り家庭訪問等も実施しました。好天の日には短時間でもドライブや園近辺の散歩等ができるよう日課を工夫しました。さらに外出できない方には、外食気分を感じていただけるように出前をとり、ゲストハウス等を利用して日常と雰囲気を変えての食事場面も提供しました。利用者が楽しんで頂ける機会を少しでも多く確保できるよう努めました。





#### (4) 支援スキル向上への取り組み

理学療法士の指導の下、利用者の身体機能維持に必要な運動プログラムを学び、拘縮予防や介護予防に繋げています。また支援方法や介助方法が適切に行えているかを確認し、より安全で安心感を感じていただけるよう努めました。また、安定したサービスの提供が出来る様に支援方法や介助方法のマニュアルを作成し、情報共有と統一した支援を行いました。

イメージウォークを  
使ってむくみ解消 ⇒



歩行介助

#### (5) 福祉機器導入

入浴設備の拡充を検討し、「移動式機械浴槽」を購入しました。年々機械浴利用のニーズが高まる中で入浴回数を減らさず、効率的に実施できるように、また、感染症等による課閉鎖時でも入浴機会を確保できるよう導入しました。





## 2 委員会報告

### (1) 人権委員会

#### 主な活動内容

月	主な内容	相談会参加者
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンブズマン相談会</li> <li>・今年度の取り組み事項の確認</li> <li>・簡易アンケート運用開始</li> </ul>	15名
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンブズマン相談会</li> <li>・人権委員会主催研修の検討</li> <li>・6月、7月人権目標の設定</li> </ul>	10名
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンブズマン相談会</li> <li>・4月、5月人権目標の各課報告</li> </ul>	8名
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンブズマン相談会</li> <li>・8月、9月人権目標の設定</li> </ul>	8名
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6月、7月人権目標の各課報告</li> </ul>	
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンブズマン相談会</li> <li>・10月、11月人権目標の設定</li> <li>・ホームしゃべり場(来訪)</li> <li>・特別研修開催「利用者に携わる職員のためのストレスケア」 講師：平本譲氏</li> </ul>	11名
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンブズマン相談会</li> <li>・8月、9月人権目標の各課報告</li> </ul>	6名
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンブズマン相談会</li> <li>・12月、1月人権目標の設定</li> <li>・詳細アンケート(家族、後見人対象)実施</li> <li>・人権自己チェックリスト(職員対象)実施集計</li> <li>・ホームしゃべり場(来訪)</li> </ul>	10名
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10月、11月人権目標の各課報告</li> <li>・ホームしゃべり場(往訪・来訪)</li> </ul>	
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンブズマン相談会</li> <li>・2月、3月人権目標の設定</li> </ul>	7名
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・12月、1月人権目標の各課報告</li> <li>・詳細アンケート(家族、後見人対象)集計</li> <li>・ホームしゃべり場(来訪)</li> </ul>	11名
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンブズマン相談会</li> <li>・4月、5月人権目標の設定</li> <li>・今年度評価および来年度への課題検討</li> <li>・ホームしゃべり場(往訪)</li> </ul>	13名

## (2) 広報委員会

活動内容：「ベルデカーレ第80号～第82号」の発行



### ア ベルデカーレの発行

「利用者や家族の皆さんが楽しめる内容」を目指して編集・発行に取り組みました。担当委員で掲載する記事や写真を集め、紙面のレイアウト内容等々を検討して、印刷は外部業者に依頼しました。

5月発行80号では、4月に着任した平嶺園長のご挨拶をはじめ、各部署からのご挨拶。そして「新人・異動職員」の紹介。併せて指定管理新規事業の取り組みを紹介をしました。

また、5年目の3.11報告、地域の方々とおこなった災害訓練の様子も紹介しました。

今年度のベルデカーレを通して厚木精華園のどんなことをお知らせしていこうかと委員会の中で話し合い、「各課お風呂事情」を特集し日常生活の一部を紹介しようということになりました。

しかし…

8月発行予定の81号は、法人内で広報の自粛が決定したので、発行を見合わせました。

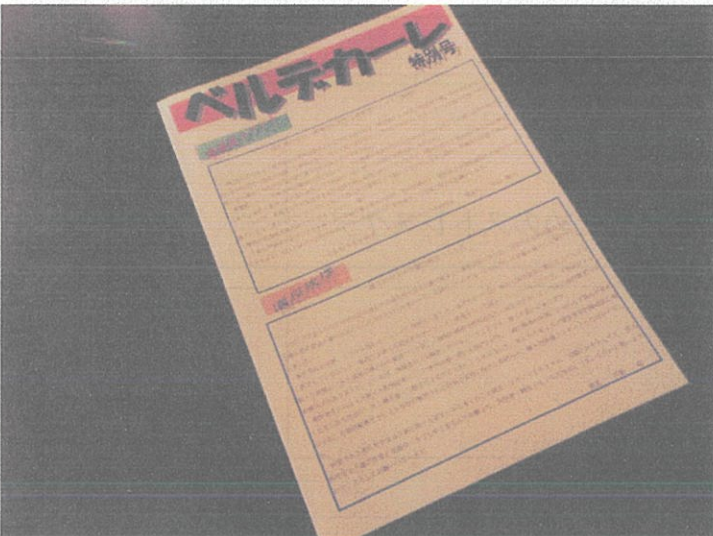
9月、81号は特別号として委員会手作りのベルデカーレを発行、ご家族を中心に配布しました。

7月の夏祭り・9月の長寿の祝いなど園内で楽しんだたくさん笑顔をお見せすることができました。

生活3課の音楽を聴きながらのお風呂事情も紹介しました。

平成29年1月には82号を発行。ベルデカーレが広報紙名に採用された経緯を表紙に載せるようになりました。

園長をはじめ各部長から新年の挨拶、好評だったクリスマス会の様子を紹介しました。



### (3) 情報ネットワーク委員会

#### 活動内容

##### ア レインボーネットの運用管理

園内の情報伝達に役立てました。より使いやすくするための提案などに努め、法人情報ネットワーク委員会や業者との連携を図りました。

##### イ 園内パソコンネットワークの運用管理

総務課の担当者とともにパソコンの節電・保安のため、夜間のシャットダウンを励行するように周知しました。また、園内パソコン共有ネットワークにある増大なデータについて、フォルダ整理のルールを検討、提示しました。

##### ウ 法人情報ネットワーク委員会との連携

法人会議に参加後、園内委員会にて報告し、法人としての取り組み事項の確認と、法人からの周知事項の徹底を図りました。また、レインボーネットの普及活動を行い、書式統一並びに迅速な情報共有に努めました。

##### エ 園内パソコン研修の企画・実施

生活1課課会議に業者に来てもらい、レインボーネットの使用などを直接教えてもらいました。

#### (4) 利用者自治会

利用者の自主性、主体性を重視するため、各課利用者自治会を毎月実施し、各課から立候補された役員が全体会にて意見交換する形で実施しました。職員は本人活動のサポート役として、いかに本人の声を聞き、反映させ、活動に繋げるかを重点目標として自治会活動を支えてきました。

利用者自治会を支援するため、利用者自治会委員会を隔月(偶数月)開催しました。

前年度までの取り組みの発展と利用者自治会役員の活躍の場については、一部行事の開催見送りとともに、拡充には及びませんでした。

##### 主な活動内容

月	主な活動内容
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者役員候補選出</li> <li>・年間計画および予算確認</li> <li>・誕生会・利用者ニーズ調査</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者役員選出</li> <li>・誕生会・利用者ニーズ調査</li> </ul>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イトーヨーカ堂訪問販売実施</li> <li>・年間自治会費徴収</li> <li>・第三者委員、利用者自治会との話し合い</li> <li>・誕生会・利用者ニーズ調査</li> </ul>
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誕生会・利用者ニーズ調査</li> <li>・会則改正</li> </ul>
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誕生会・利用者ニーズ調査</li> </ul>
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誕生会・利用者ニーズ調査</li> <li>・長寿の祝いコンサート開催見送り</li> </ul>
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誕生会・利用者ニーズ調査</li> </ul>
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誕生会・利用者ニーズ調査</li> <li>・自治会主催コンサート開催見送り</li> </ul>
12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イトーヨーカ堂訪問販売実施</li> <li>・誕生会・利用者ニーズ調査</li> </ul>
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誕生会・利用者ニーズ調査</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誕生会・利用者ニーズ調査</li> <li>・年度総括</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誕生会・利用者ニーズ調査</li> <li>・春の宴コンサート開催</li> </ul>

## (5) 健康委員会/医療安全委員会

- ア 健康委員会：利用者の健康管理に関することについて、取り組みました。  
健康委員は各課1-2名。
- イ 医療安全委員は医療的ケアの安全管理に関することについて、取り組みました。  
医療安全委員は生活課と日中支援課 各課1-2名。

### 主な活動内容

月	健康委員会	医療安全委員会
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会の主旨の確認と今後の取り組みについて</li> <li>・年間スケジュールの確認</li> <li>・各課利用者急変時対応訓練実施</li> <li>・排便の表記について確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療安全委員会の発足について</li> <li>・H28年度医療ヒヤリについて報告</li> <li>・医療ワーカー：手技見直し予定確認・調整</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月度利用者急変時対応訓練の報告と検証</li> <li>・各課利用者急変時対応訓練実施</li> <li>・4月度取り組み：気温と衣類調整について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療ヒヤリ4月分検証（3件）</li> <li>・園内手技確認研修実施状況報告。</li> <li>・新取得者の研修に向けての情報提供</li> </ul>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5月度利用者急変時対応訓練の報告と検証</li> <li>・各課利用者急変時対応訓練実施</li> <li>・5月度取り組み：フットケア（白癬予防）について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療ヒヤリ5月分検証（3件）</li> <li>・医療ワーカー：2課 手洗い+吸引の演習実施</li> <li>・痰の吸引の外部研修機関受験結果報告</li> </ul>
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6月度利用者急変時対応訓練の報告と検証</li> <li>・各課利用者急変時対応訓練実施</li> <li>・6月度取り組み：気温に合わせた衣類調整</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療ヒヤリ6月分なし</li> <li>・園内手技確認研修実施状況報告。</li> <li>・医療的ケア：喀痰吸引等の実地研修進捗状況</li> </ul>
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7月度利用者急変時対応訓練も報告と検証</li> <li>・7月度取り組み：スキンケア</li> <li>・各課利用者急変時対応訓練実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療ヒヤリ7月分検証（3件）</li> <li>・園内手技確認研修実施状況報告</li> <li>・医療的ケア：喀痰吸引等の実地研修進捗状況</li> </ul>
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・8月度利用者急変時対応訓練の報告と検証</li> <li>・各課利用者急変時対応訓練実施</li> <li>・8月度取り組み：スキンケア</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療ヒヤリ8月分検証（2件）</li> <li>・医療ワーカー：日中支援課 経管栄養の演習</li> </ul>
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9月度利用者急変時対応訓練の報告と検証</li> <li>・感染症の講義（堀野医師）と予防対策</li> <li>・各課利用者急変時対応訓練実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療ヒヤリ9月分検証（3件）</li> <li>・新規利用者医療的ケア追加研修報告</li> <li>・感染症予防の講義実施</li> </ul>
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10月度ノロ発生時対応訓練の報告と検証</li> <li>・必要物品の確認・予防対策</li> <li>・各課利用者急変時対応訓練実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療ヒヤリ10月分検証（2件）</li> <li>・医療ワーカー：2課 手洗い+吸引の演習実施</li> </ul>
12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・11月度利用者急変時対応訓練の報告と検証</li> <li>・感染予防対策：物品等の確認</li> <li>・各課利用者急変時対応訓練実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療ヒヤリ11月分なし</li> <li>・医療ワーカー：2課 手洗い+経管栄養の演習実施</li> </ul>
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・12月度利用者急変時対応訓練の報告と検証</li> <li>・各課利用者急変時対応訓練実施</li> <li>・感染症予防対策</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療ヒヤリ12月分検証（3件）</li> <li>・医療ワーカー：1課 小テスト実施</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1月度利用者急変時対応訓練の報告と検証</li> <li>・次年度の利用者急変時対応訓練の取り組み</li> <li>・各課利用者急変時対応訓練実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療ヒヤリ1月分検証（2件）</li> <li>・医療ワーカー</li> <li>・次年度医療的ケア研修スケジュール案確認</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2月、3月度利用者急変時対応訓練の報告と検証</li> <li>・次年度向けの取り組みの確認</li> <li>・フットケア（白癬予防）</li> <li>・各課利用者急変時対応訓練実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療ヒヤリ2月分なし</li> <li>・医療ワーカー：2課・日中小テスト実施 3課手洗い</li> <li>・今年度のまとめについて</li> <li>・医療計画書の更新</li> </ul>



## (6) 衛生委員会

- ア 衛生委員会設置要領第2条に則り、委員を指名 任期は1年
- イ 職員の健康障害を防止する対策に取り組みました。
- ウ 職員の健康保持増進を図りました。
- エ 労働災害の原因及び再発防止対策を行いました。

### 主な活動内容

月	活動内容
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衛生委員会の役割について</li> <li>・ストレスチェック制度について</li> <li>・28年度年間予定について</li> <li>・平成27年度労災状況について</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5/31交通安全研修</li> <li>・28年度年間予定の担当及び内容の確認</li> <li>・27年度年休取得・時間外勤務状況について</li> <li>・ストレスチェック制度について</li> </ul>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通安全研修報告</li> <li>・27年度時間外について</li> <li>・ストレスチェック制度について</li> <li>・研修他進捗状況の確認</li> </ul>
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員健康診断結果について</li> <li>・研修他進捗状況の確認</li> </ul>
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ストレスチェック制度について</li> <li>・研修他進捗状況の確認</li> </ul>
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9/7 腰痛予防研修</li> <li>・労災発生状況中間報告</li> <li>・ストレスチェック制度について</li> </ul>
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ストレスチェック制度について</li> <li>・健康診断について</li> <li>・研修他進捗状況の確認</li> </ul>
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月から9月時間外について</li> <li>・研修他進捗状況の確認</li> </ul>
12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修他進捗状況の確認</li> </ul>
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1/18 メンタルヘルス研修</li> <li>・1/31 メンタルヘルス研修</li> <li>・職員健康診断結果およびストレスチェック制度結果について</li> <li>・研修他進捗状況の確認</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メンタルヘルス研修報告</li> <li>・健康相談について</li> <li>・次年度研修計画について</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3/29 職員健康相談</li> <li>・次年度研修計画（案）について</li> <li>・今年度のまとめ</li> </ul>

## (7) リスクマネジメント委員会

### ア 活動内容

#### (ア) ワーニングレポート（ひやりはっと報告）

毎委員会前に各課で提出された『ひやりはっと報告』を課内で検討した  
ものや委員の分析技術の向上に繋げると共に、各課会議及びグループ会議  
で要因と対策について検討を行った事例を委員会にあげて意見をもらい、  
再度各課に戻して周知することによって、職員の意識向上・喚起を促しま  
した。

さらに、各課での防止策や対応策を情報交換するようにしました。園全  
体での共通認識を図りました。

#### (イ) 『ひやりはっと』事例集の作成

『ひやりはっと報告』をより活用し、次につなげていくために各課で今  
年度に見られた『ひやりはっと報告』から事例を挙げ、新採用職員や異  
動職員に当園の利用者特性を知ってもらうとともに、起こり得ることを  
事前に知ってもらうようにと作成しました。

文章だけではなくイラストを用いて、また投げ掛けるような語尾にて  
印象に残るような事例集の作成をと工夫しました。

#### (ウ) 服薬マニュアルの見直し・作成

各課にて状況に応じながら、服薬マニュアルの見直しや改めでの作成  
を行ないました。作成しただけではなく、定期的な見直しを行なってい  
くことで、人的要因によるミスが起こらない工夫に取り組みました。

#### (エ) 危険予知訓練

危険予知訓練としては、事故に繋がらないようにと『ひやりはっと報  
告』から見られる項目における『その他』を検証しました。起こった  
項目について事例がどのようなことに繋がってしまうのか、より先を  
見据えて考え、起こり得ることについての予防策を考えました。

イ ひやりはっと28年度まとめ

	負傷	服薬	誤嚥	誤飲	物品 破損	物品 紛失	所在 不明	医療	その 他	合計
生活1課	60	52	8	2	7	8	8	16	13	173
生活2課	33	27	6	4	0	2	5	10	7	94
生活3課	32	5	2	2	0	1	6	0	2	50
看護課	0	19	0	0	0	2	0	7	6	34
地域生活支援課	19	34	1	1	1	3	5	2	7	73
日中支援課	31	10	3	2	2	2	8	9	6	73
厚木身障等生活介護	15	3	1	0	1	3	1	0	9	28
調理課	0	0	3	0	0	0	0	0	0	3
総務課	0	0	0	1	1	1	0	0	7	10
合計	190	147	23	12	12	22	32	44	57	539

ウ 事故報告28年度まとめ

	負傷	服薬	誤嚥	誤飲	物品 破損	物品 紛失	所在 不明	医療	その他	合計
生活1課	0	0	1	1	0	0	0	1	0	3
生活2課	7	1	1	1	0	1	0	6	3	20
生活3課	10	0	0	0	0	0	0	0	1	11
看護課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地域生活支援課	4	1	0	0	0	1	0	1	2	9
日中支援課	2	0	1	0	0	0	0	0	0	3
厚木身障等生活介護	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
調理課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総務課	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
合計	23	2	3	2	0	2	0	8	7	46



### 3 医療・看護

#### 1 診療業務及び受診状況

厚木精華園診療所の役割は、利用者の健康管理と診療業務です。診療業務は継続して神奈川リハビリテーション病院の協力を得て行いました。

##### (1) 年間業務

年度の計画に基づき健康診断及び諸検査などを以下の内容で行いました。前年度と変わりなく実施できました。異常時には外部医療機関を受診して検査や治療、医療的フォローを実施しました。

ア 健診業務 内科（一般聴打診・血圧測定・心電図・身長・体重）  
胸部レントゲン撮影（1回/年）  
内科健診は誕生日健診と6ヶ月後に実施  
耳鼻科、眼科、乳癌検診

イ 検査業務 血液検査（血清、生化学、薬物血中濃度）  
腫瘍マーカー検査 便潜血  
尿検査（尿一般、）  
脳波検査（医師から指示ある人のみ）

##### (2) 日常業務

###### ア 観察

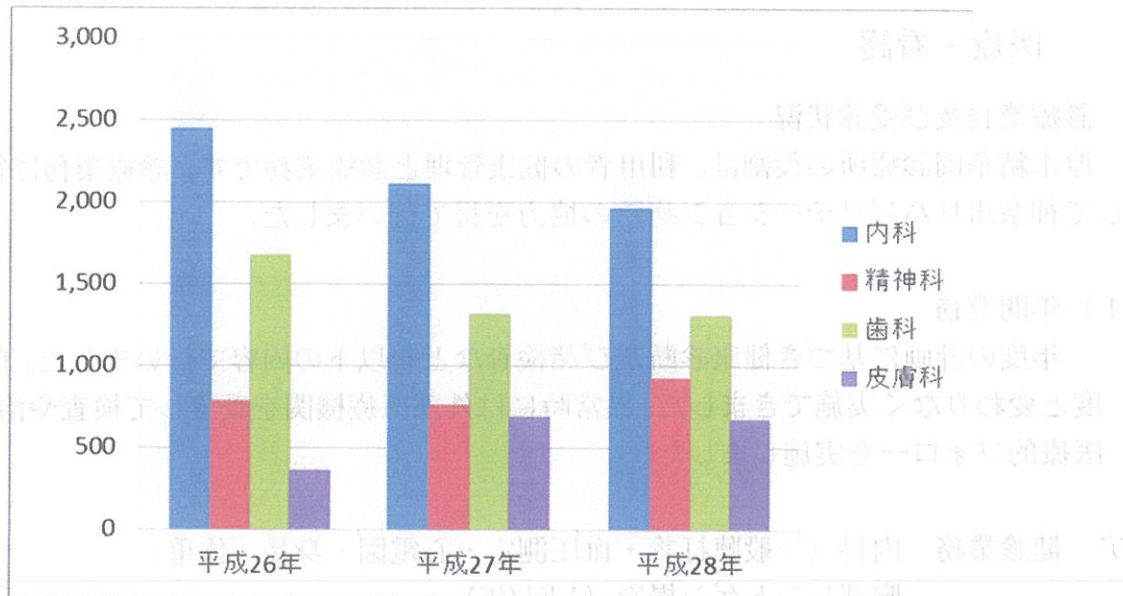
体調を十分に訴えることが難しい高齢知的障害者の健康把握のため、支援員から利用者の健康状態についての情報提供を受けながら、観察を行いました。また医療職員と支援員が同じ視点で利用者の健康状態について、共通認識をもちながら密接な連携が保てるように心がけました。

###### イ 園内診療状況

各科の診療は月間予定表を作成して計画的に行うことができました今年度の総診療件数4,863件であり、前年度とほぼ同じ結果となっています。統計資料による各科の前年度比は次のとおりでした。

診療件数

診療科 年度	内科	精神科	歯科	皮膚科	総診療件数
平成26年	2,444	783	1,668	359	5,254
平成27年	2,108	754	1,314	688	4,864
平成28年	1,964	920	1,307	672	4,863



#### (ア) 内科

診療件数は1,964件、他界や移行支援等で144件の減少となりました。1月から3月にかけて、インフルエンザ等の感染症の発生もありましたが蔓延することはありませんでした。

#### (イ) 精神科

診療は週2日と前年度と変わりありませんでした。新規の受診者が増えたことで件数も166件の増となりました。

#### (ウ) 歯科

前年度1,314件、今年度は感染症による課閉鎖等もあり1,307件で7件の減となりました。

#### (エ) 皮膚科

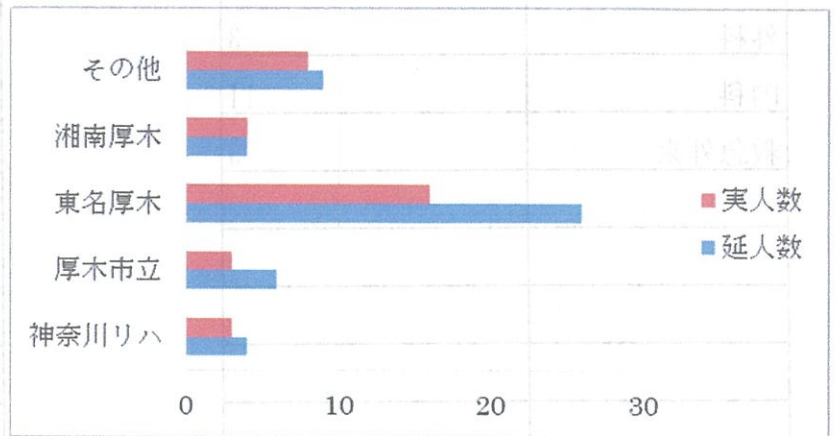
今年度は月2回の診療となり672件で昨年とほぼ同様の診療件数となりました。水虫、老人特有の皮膚疾患や初期の褥瘡などが目立ちました。園内での診療・処置にも限界あり並行して外部通院も行いました。

#### ウ 他医療機関の受診状況

園内治療には限界があり専門医による診療が必要な疾患や、より精密検査を必要とする疾患については神奈川リハビリテーション病院や東名厚木病院等を利用しました。発熱や外傷については近隣の病院を利用し、東名厚木病院等への通入院は緊急での利用がほとんどでした。高齢に伴う身体機能の低下や施設内での医療的ケアの限界などもあり延べ入院数は50件で昨年より1件の減でした。

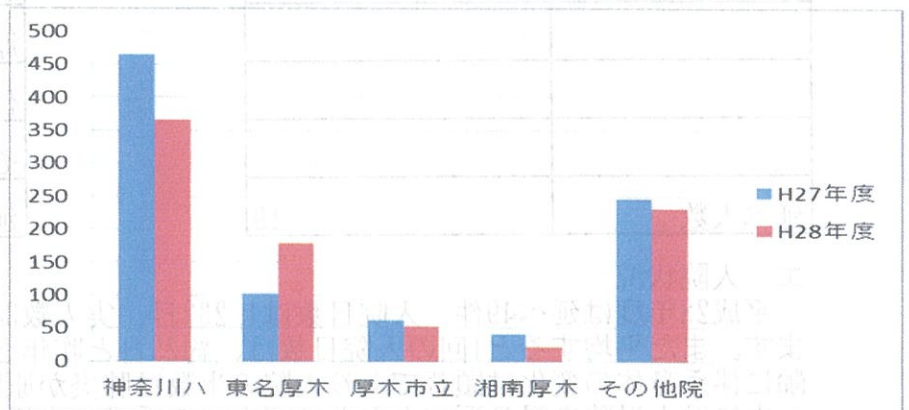
## 入院状況

入院先	延人数	実人数
神奈川リハ病院	4	3
厚木市立病院	6	3
東名厚木病院	26	16
湘南厚木病院	4	4
その他	9	8
計	49	34



## 厚木精華園通院状況

通院先	H27年度	H28年度
神奈川リハ	465	379
東名厚木	102	180
厚木市立	62	49
湘南厚木	41	19
その他院	246	243
計	916	870



## 平成 28 年度通院状況

### 1. 神奈川リハ病院

内科	74
外科	82
泌尿器科	61
眼科	13
リハ科	6
脳神経科	3
神経内科	0
整形外科	46
皮膚科	81
耳鼻科	0
歯科	6
延人数計	366

### 2. 東名厚木クリニック病院

内科	75
外科	11
脳外科	3
整形外科	20
形成外科	33
泌尿器	1
耳鼻科	2
救急外来	35
延人数計	180

### 3. 厚木市立病院

外科	8
脳外科	3
眼科	16
泌尿器科	2
整形外科	8
内科	2
精神科	0
婦人科	0
肛門外来	8
救急外来	2
延人数計	49

4. 湘南厚木病院

外科	3
内科	11
救急外来	5
延べ人数	19

5. その他医療機関

峯崎整形外科	23
米澤外科内科	32
戸室耳鼻科	8
東海大	32
とびお診療所	18
近藤病院	0
あらかわクリニック	6
相州病院	30
森の里	1
厚木佐藤病院	50
仁厚会	5
その他医院等	38
延べ人数	243

エ 入院状況

平成28年度は延べ49件、入院日数は1,232日、実人数34名で昨年と同じになっています。また平均すると1回の入院日数は、約25日と昨年と同じ日数となりました。高齢に伴う身体の変化は顕著であり入院の半数は肺炎が原因でした。入院した利用者の中には入退院を繰り返す人もあり園内での看護・支援継続の困難さに療養型の病院等に移行された方もいました。

入院状況

NO	性別	年齢	疾患名	入院機関	入院期間	付添	入院日数
1	男	84	右大腿骨骨折	東名厚木	3/14-4/21		21
2	男	70	右膿胸、Spo2・意識低下	湘南厚木	3/26-6/23		84
3	男	82	小腸イレウス	湘南厚木	3/30-4/28		28
4	男	65	左肺癌転移	厚木市立	4/11-4/19		9
5	男	86	食欲不振	オアシス湘南	4/14-5/25		42
6	男	76	腸閉塞	東名厚木	4/30-5/12		13
7	男	66	窒息・誤嚥性肺炎	東名厚木	5/3-5/23	救急車	21
8	男	59	肺炎・腎機能低下	東名厚木	5/4-5/16		13
9	男	59	40℃発熱、Spo2低下 意識低下	東名厚木	5/17-6/3	救急車	18
10	女	65	食後の嘔吐 発熱 右肺炎（誤嚥）	東名厚木	5/20-5/26		7
11	男	66	仙骨部褥瘡手術目的入院	東名厚木	6/18-9/20		95

12	男	55	左大腿骨骨折	東名厚木	6/19-7/1		13
13	男	59	誤嚥性肺炎	東名厚木	6/22-7/25		34
14	男	79	肺炎・慢性腎不全	森の里	6/25-8/22	救急車	59
15	男	67	発熱、SPO2の低下、誤嚥性肺炎	東名厚木	6/25-7/19	救急車	25
16	女	76	誤嚥性肺炎	神奈川県リハ	6/30-7/14		15
17	男	55	服薬調整	厚木佐藤病院	7/9-9/4		58
18	女	65	誤嚥性肺炎	東名厚木	7/9-7/15		7
19	男	67	低栄養	神奈川県リハ	7/11-8/2		33
20	女	83	発熱とSPO2の低下	湘南厚木	7/16-7/21		6
21	男	55	精神科薬コントロール	相州病院	7/22-8/15		25
22	男	70	SPO2の低下 肺炎	東名厚木	8/24-9/17	救急車	25
23	男	67	発熱 肺炎	神奈川県リハ	8/29-9/9		12
24	男	76	嘔吐	東名厚木	8/30-9/12		14
25	男	66	肺癌、排尿便失禁 上腸管膜動脈性十二指腸閉塞 の疑い	厚木市立	9/6-9/25		15
26	男	70	下血（腸管出血） 大腸癌11・2日手術	東名厚木	10/21-11/29		41
27	男	48	SPO2の低下 誤嚥性肺炎	国立神奈川県病院	10/28-1/5	救急車	74
28	女	76	誤嚥性肺炎	東名厚木	11/12-11/28		17
29	女	83	右肺炎	東名厚木	11/19-12/1		13
30	男	70	術創感染	東名厚木	12/3-12/12		10
31	男	76	イレウス 肺炎	東名厚木	12/10-12/19		10
32	女	54	大腸検査（内視鏡）	厚木市立	12/20-21		2
33	女	82	茶褐色の嘔吐 41.1℃の 発熱	湘南厚木	12/23-2/22		62
34	男	78	食思不振	仁厚会	12/26-3/17		96
35	男	86	SPO2の低下 誤嚥性肺炎	厚木市立	1/1-1/4	救急車	4
36	女	75	窒息（吐瀉物による）	東名厚木	1/2-1/2	救急車	0
37	男	48	気管支炎	神奈川県病院	1/10-3/3		41
38	男	69	低ナトリウム	東名厚木	1/11-1/18		8
39	女	66	蜂窩織炎	神奈川県リハ	1/20-1/31		12
40	男	60	発熱 偽膜性腸炎	東名厚木	1/22-2/9		19



41	女	81	SP02の低下 肺炎	東名厚木	2/10-2/21		12
42	男	55	右大腿骨転子部骨折	東名厚木	2/15-3/2		11
43	男	57	肺炎 CRP21	東名厚木	2/17-3/6		18
44	女	82	茶褐色の嘔吐 41.1℃の発熱	田名病院	2/22-3/4		11
45	女	55	大腸ポリープ切除（内視鏡）	厚木市立	2/22-2/25		4
46	女	74	腎盂腎炎	東名厚木	2/24-		35
47	女	55	痔の手術	厚木市立	3/8-3/12		5
48	男	78	肺炎	東名厚木	3/11-3/27		12
49	女	75	統合失調による医療保護入院	愛光病院	3/16-		16
50	男	69	SP02の低下 肺炎	東名厚木	3/30-		2

\*救急車の要請は入院状況も含め13件でした。

## オ 死亡者

入所利用者の死亡状況は次のとおりです。

	性別	年齢	疾患	医療機関	日時
1	男	82	消化管穿孔	湘南厚木	H28. 4. 28日
2	男	70	尿崩症による脱水	湘南厚木	H28. 6. 23日
3	男	79	腎不全・老衰	森の里病院	H28. 8. 22日
4	男	70	重症肺炎	東名厚木	H28. . 9. 17日
5	男	66	肺癌 肺腺腫	厚木市立	H28. 9. 25日
6	女	75	窒息（吐瀉物による）	東名厚木	H29. 1. 2日
7	男	86	誤嚥性肺炎	厚木市立	H29. 1. 4日
8	女	83	胃癌	田名病院	H29. 3. 4日 10：18

## カ その他

### （ア）感染症対策

インフルエンザワクチン予防接種の実施、インフルエンザウィルスキット、ノロウィルス抗体キット、マスクなどを購入し感染症予防の対策を取りました。また、支援員への感染症予防の啓発として専門医による研修会を開催とノロ対応訓練を行い標準化を図るよう努めました。今年度は感染性胃腸炎の感染はありませんでした。インフルエンザについては1月より発症罹患した人数は通所も含め8名、職員7名の計15名でした。インフルエンザの流行時期が変化しているため利用者の通院時にはマスク着用等を促しました。

### （イ）医療的ケア

高齢化に伴い入退院を繰り返す中で医療的ケアが求められる機会が多くなっています。今年度も医療的ケアが必要となった方の受け入れや医療行為の変更等で62名の職員が研修を終了しました。

医療的ケアの対象人数は経鼻栄養：4名、胃ろう：5名、吸引：10名。

## 4 給食業務の状況

### 『スパイス愛で調理』

厚木精華園の食事は利用者に寄り添った『安全』『安心』そして、『感動』をお届けしてまいりました。

#### (1) 28年度温冷配膳車導入

生活課各課に温冷配膳車を導入で適温提供の実現に至りました。冬は温かい食事提供の実現、夏は冷たいデザート。食欲をそそる爽やかな冷やし中華等の提供で利用者へのサービス向上を図りました。



#### (2) 食事形態の改善と調理方法の工夫

高齢で嚥下機能が低下していく利用者に寄り添った食事は安全を第一に味、見た目の美しさを考慮して調理しています。

##### 食事形態の特徴

- ア 「口どけ食」喉をスルーと落ちていく嚥下困難な利用者に安心、安全な食事として当園には欠かせない嚥下食です。
- イ 「トロミ食」は口腔内でばらけないように硬すぎず柔らかすぎない調理法です。
- ウ 「カット食」は普通食の形態をさらに食べやすくカットをしました。
- エ 「普通食」でも利用者さんには合わせた調理で方法です。食べやすい大きさにカットします。煮物などは舌でつぶせる硬さです。

#### (3) 医療対応食の実施

- ア 糖尿病、脂質異常症、高血圧、腎臓病、低残差、塩分制限等の医療食を医師の指示により実施しました。

#### (4) 食事形態別食数 厚木精華園の入所者のみ

普通食 1800Kcal～1600Kcal 29名・カット食 20名・トロミ食 4名・口どけ食 9名  
制限食 1400Kcal～1000Kcal 8名・カット食 18名・トロミ食 7名・口どけ食 10名

#### (5) 嗜好による個人対応の実施で食事への不満を解消しました。

嫌いな食べ物、食べづらい物は利用者ご本人からのご希望に沿った食事の提供を実施しています。

#### (6) 利用者『喫茶プティ招待』と『昼食プティ招待』

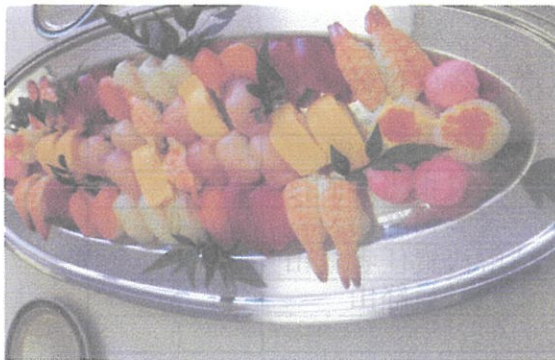
後援会からの補助金事業。『喫茶プティ招待』とは、栄養調理課職員が入所者、グループホーム、生活介護利用者の方々を6名から10名招待し、職員食堂で毎月1回午後2時から3時の一時間内で行う内容は、手作りお菓子や飲み物を囲んで談笑、風船バレー、伝言ゲーム、ギター演奏で唄い楽しい時間を過ごしました。

28年度『喫茶プティ招待』は年に10回実施しました。





『昼食プティ招待』とは利用者が大好きな「握りのお寿司」を目の前でお好みを握るサービスです。今年からは、「口どけの握り寿司」で嚥下困難な利用者も笑顔で召し上がることが出来ました。



28年度は『寿司まつり招待』2回実施しました。利用者総数20名を招待しました。

(7) 『行事食』と『季節食事』の実施

- 9月 『長寿の祝い』高齢者施設ならではの行事、皆さんが食べやすいように調理されたお弁当でお祝いをしました。
- 9月 『秋分の日』おはぎ3種を昼食で提供しました。「口どけのおはぎ」も大好評でした。
- 12月 厚木精華園クリスマスパーティー『クリスマススペシャル弁当』でクリスマスを楽しみました。  
厚木身体障害者等介護事業所『とまと』のXmasバイキングの厚木精華園にて実施しました。
- 12月31日 大晦日 天婦羅そばを提供しました。
- 29年 元旦 朝食は、鯛のお頭つき姿煮、雑煮、いくらの和え物などで新年を迎えました。昼食はお刺身豪華盛り合わせ、お赤飯、伊達巻、数の子の紅白なます、お吸い物を提供しました。
- 1月7日 朝食 七草粥を提供しました。
- 1月 各課新年会 お刺身、天ぷらとお正月料理でお祝いをしました。
- 1月 鏡開きでお汁粉を提供し、「口どけ食のお汁粉」を提供大好評でした。
- 2月 節分 小粒の甘納豆で「鬼は外！」をしました。
- 2月 春分の日 昼食はおはぎ3種を昼食。「口どけ食のおはぎ」も提供しました。

季節ごとの日本の食文化を提供しました。

## 5 苦情解決

園内に苦情解決責任者（園長）及び苦情受付担当者（支援部長、地域支援部長）と第三者委員を設けて、組織的に苦情解決に努めています。  
職員には、苦情以外にも要望等も苦情として受付をすることを意識して実施しました。

### (1) 第三者委員及び来園活動日

日時	内容
4月10日(日)	・家族会全体会にてご紹介と挨拶
6月10日(金)	・利用者自治会代表者との懇談会
9月7日(水)	・長寿の祝い行事視察中止
10月8日(日)	・ラフェスタ行事視察中止
1月11日(日)	・家族会役員会との懇談会
2月10日(金)	・幹部職員との懇談会 ・下半期の苦情報告

### (2) 苦情内容

#### ア 苦情等受付方法

受付方法	件数
面接	4
電話	2
手紙・FAX等	0
その他	0
合計	6

#### イ 苦情等受付経路

受付経路	件数
苦情受付担当者直接	1
第三者委員経由	0
苦情解決責任者経由	0
その他職員経由	5
その他	0
合計	6

#### ウ 苦情申出人

利用者との関係	件数
本人	1
家族	1
代理人	0
不明(投書等)	0
その他	4
合計	6

#### エ 苦情等の内容

複数あり

苦情等の内容	苦情(件数)	要望等(件数)
生活支援サービス	0	0
医療・看護サービス	0	0
相談サービス	0	0
食事サービス	0	0
環境	2	2
職員対応	1	1
その他	0	0
合計	3	3

#### オ 苦情申出人の要望

複数あり

申出人の要望	件数
話を聞いて欲しい	2
教えて欲しい	0
回答が欲しい	0
調査して欲しい	0
改めて欲しい	4
その他	0
合計	6

#### カ 苦情等対応結果

対応結果	件数
解決(改善等)	6
関係機関への引き継ぎ	0
保留(次年度引き継ぎ)	0
その他	0
合計	6

### Ⅲ 地域支援

#### 1 短期入所事業 日中一時支援事業

28年度の短期入所事業の利用者の特色として中高齢期の在宅の方でご家族の高齢化により家庭で継続して過ごすことが難しくなり緊急的に受け止め、長期的に利用する方、重複障害のためハード面で自宅近隣での知的障害者を支援する施設での短期利用ができず当園を利用する方が目立ちました。平成18年10月より行っている日中一時支援事業は、厚木市、愛川町とそれぞれ委託契約を結んでいます。

(1) 月別短期入所状況

(単位：人)

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	人	4	4	4	4	1	1	2	3	4	5	5	4	41
	日	40	56	57	55	31	30	35	38	47	49	48	18	504
女	人	5	5	5	3	0	0	0	0	0	0	0	0	18
	日	37	49	42	20	0	0	0	0	0	0	0	0	148
計	人	9	9	9	7	1	1	2	3	4	5	5	4	59
	日	77	105	99	75	31	30	35	38	47	49	48	18	652

(2) 市町村別短期利用者状況

(延べ人数)

区分	厚木市	伊勢原市	相模原市	秦野市	海老名市	小田原市	平塚市	愛川町	湯河原町	大和市	綾瀬市	山北町	逗子	横須賀市	計
男	170	14	8	0	0	0	0	8	0	289	0	0	0	15	504
女	59	0	22	0	0	67	0	0	0	0	0	0	0	0	148
計	229	14	30	0	0	67	0	8	0	289	0	0	0	15	652

(3) 月別日中一時状況

(単位：人)

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延べ人数	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	4	1	5	2	7	2	7	5	0	3	1	1	38
	計	4	1	5	2	7	2	7	5	0	3	1	1	38

#### 2 相談支援

相談研修課のケースワーカーを中心に、相談の受け付けを行いました。入所相談が中心で、短期入所へのほか、平日、日中活動の場として生活介護や日中一時支援を希望する方の相談がありました。市町村や指定相談支援事業所の窓口との連携、他施設との情報交換を十分に行っていくことが不可欠となっています。相談件数は以下に示す表の通りでした。

相談支援の状況

(単位：件)

区分	厚木市	相模原市	秦野市	平塚市	小田原市	茅ヶ崎市	湯河原町	横浜市	座間市	海老名市	愛川町	清川村	川崎市	計
見学 電話 相談	男	6	3	1	1	1	0	0	0	1	1	0	2	
	女	7	2	1	1	2	0	2	1	2	1	0	0	
	計	13	5	2	2	3	0	2	1	3	2	0	2	
区分	綾瀬市	伊勢原市	藤沢市	鎌倉市	大磯町	大井町	横須賀市	三浦	逗子	山北	大和	県外	不明	計
見学 電話 相談	男	0	1	0	0	0	1	0	0	0	3	1	0	22
	女	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	21
	計	0	1	0	0	1	0	1	0	0	3	2	0	43

### 3 生活介護について

平成 28 年度は、定員 140 名で生活介護事業を行いました。利用者の契約状況として一般入所 111 名、共同生活援助利用者 26 名、在宅利用者 10 名となっています。(平成 29 年 3 月 31 日現在)

サービス内容としては、『日中の過ごし場の場』として、入浴・排泄・食事、理美容などの「日常生活支援」、生産活動、創作活動、機能維持活動、余暇的活動などの「日中活動支援」、その他送迎、様々なプログラムを組み立て、サービス提供をしてきました。

#### (1) サービス概要

##### ア 日常生活支援

###### (ア) 入浴

生活寮での一般浴、マルチリフター浴及び機械浴では在宅利用者も含めて実施しました。特に機械浴については、利用者の身体的負担が軽減され、ニーズが高くなってきています。

###### (イ) 食事

利用者のニーズ、摂食状況に応じた食事内容、介助を行ってきました。「安全な食事・楽しい食事」ができるよう様々な工夫をしてきました。

###### (ウ) 理美容

理容、美容合わせて毎月 4 回実施しました。希望利用者には、毛染め、パーマなども実施しました。園内理美容室への移動が困難な利用者に対しては、理美容師が生活寮まで出向いて実施しました。

##### イ 日中活動

###### (ア) 生産活動

「働きたい」という気持ちを大切に、利用者一人一人の希望、作業能力に合わせて作業の提供をしました。

内容としては、「アルミリサイクル」「DVD・CD 解体」を中心に行いました。活動で得た売り上げは、作業工賃として利用者へ支給しました。

###### (イ) 創作活動

###### ① 絵手紙・刺し子

それぞれ月 1～2 回、外部より講師・ボランティアを招いて作業活動室で実施しました。絵手紙については、参加者の作品を園内外等に展示しました。

###### ② 塗り絵・貼り絵

題材は、豊富なバリエーションを用意したことで、個性豊かな多くの作品ができあがりました。

###### (ウ) 機能維持活動

高齢化に伴う身体機能低下及び廃用症候群の予防を目的とし、ボールやお手玉・輪投げ等を使って身体を動かしたり、理学療法士による機能訓練及び理学療法士の指導に基づいた職員による機能維持運動などを実施しました。



		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
		月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	
PT 勤務日数 (のべ)		6	5	7	6	7	6	7	5	5	5	6	6	71
理学療法 取組回数 ※PT 介 入によるもの	1 課	2	2	3	1	2	2	2	2	1	2	2	3	24
	2 課	4	2	2	4	3	2	2	3	2	1	2	2	29
	3 課	2	2	2	-	2	2	2	2	1	2	2	2	21
	在宅	1	2	2	1	-	1	2	1	1	2	1	1	15
	GH	2	2	2	2	2	2	3	1	2	2	2	2	24

## (エ) 余暇的活動

## ① カラオケ・映画会

それぞれ週 1 回、作業活動室で定期プログラムとして取り入れ、実施しました。活動プログラムの中でも楽しみの 1 つとして定着しました。

## ② 音楽レク

月 1 回、外部より講師を招いて、生活寮で実施しました。参加した利用者は音楽に合わせて歌い、体を動かしていました。

## ③ 売店 (ファミリーマート)

月 1 回、近隣のファミリーマートの協力をいただき、体育館にて菓子・飲料・雑貨類等、利用者の希望物品などを販売しました。月 1 回の恒例行事となり、売店を心待ちにしている利用者がとて多くなりました。

## ④ 福祉ネイル

月に 1 回、外部よりネイリストを招いて、相談室の 1 室を活用してネイルを行ないました。利用者は、笑顔とともに塗った爪を見せてくれる等、楽しんでいました。

## ⑤ 喫茶おはなし

月に 1 回、相談研修課が中心となり、ボランティアを招いてゆっくりとコーヒーや紅茶・綿菓子等飲食しながら、話をしたり・会話を聴楽しんでいました。

## ウ その他

## (ア) 送迎

厚木市・清川村在住の共同生活援助利用者、在宅利用者に対して実施しました。安全・安心できる運転を心掛けました。

## (2) 月別利用者状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	月平均
営業 日数	21	20	22	21	23	21	21	21	20	20	20	23	
利用者数 (のべ)	2786	2616	2978	2745	3241	2782	2959	2846	2875	2905	2727	3044	2875.3

#### 4 厚木身体障害者等生活介護事業所『とまと』

厚木市より事業を引き継ぎ、厚木精華園による運営が6年目となりました。引き続き厚木市との連携の中、安定した経営をこれからも歩んでいきたいと思っております。平成28年度は、利用者数が大幅に増加しましたが、サービスの質を落とすことなく自立支援プログラム、入浴、行事等利用者の要望になるべく応え、安心して寛げる場所の提供に取り組みました。またボランティアの積極的活用により、利用者の個別支援の充実を図り、家族も含め好評を得ています。7年目も、「とまとに来ると落ち着く」という声が多く聞かれるようにしたいと思っております。

##### (1) 年間事業実績

	区分6	区分5	区分4	区分3	総計
男性	447	366	377	512	1,702
女性	737	671	192	0	1,600
計	1,184	1,037	569	512	3,302

週末イベントなど、必要性に応じて土曜日・日曜日に事業実施を行ってまいりました。このことにより、「とまと」利用者が一同に集まる場を提供することができました。

項目	事業実施日	延利用者数	1日平均利用者数
実績	246日	3,302人	13.4人

##### (2) 曜日別利用予定者数

曜日	月	火	水	木	金
利用人数	16人 (男8・女8)	18人 (男7・女11)	15人 (男10・女5)	13人 (男8・女5)	19人 (男8・女11)

##### (3) 利用者概要

利用契約者数…35人(男性19人・女性16人)

年齢分布…10代(3人)・20代(1人)・30代(9人)・40代(8人)・50代(8人)・60代(6人)

障害支援区分…区分2(なし)・区分3(8人)・区分4(5人)・区分5(12人)・区分6(10人)

障害原因…頸椎損傷(0人)・脳外傷(5人)・脳内出血、脳梗塞(6人)

脳性マヒ(13人)・脳炎(1人)・糖尿病(8人)・その他(2人)

車椅子使用者…30人

白杖使用者…2人

※年間ボランティア数…38名(延人員)

##### (4) 活動実績

ア 防災訓練…月1回、年間12回実施

4月	5月	6月	7月	8月	9月
緊急時対応訓練(月曜利用者)	緊急時対応訓練(火曜利用者)	緊急時対応訓練(水曜利用者)	緊急時対応訓練(木曜利用者)	緊急時対応訓練(金曜利用者)	避難場所への移動訓練
10月	11月	12月	1月	2月	3月
緊急時対応訓練(月曜利用者)DVD使用	緊急時対応訓練(火曜利用者)DVD使用	緊急時対応訓練(水曜利用者)DVD使用	緊急時対応訓練(木曜利用者)DVD使用	緊急時対応訓練(金曜利用者)DVD使用	避難場所への移動訓練

## イ 自立支援プログラム「この指とまれ!!」実績

4月	5月	6月	7月	8月	9月
0回/0名	1回/6名	1回/8名	1回/7名	1回/11名	2回/11名
10月	11月	12月	1月	2月	3月
2回/9名	1回/8名	1回/14名	2回/11名	1回/6名	1回/8名

## 5 ボランティアの受入れ

年間を通して、延べ218名の方にボランティアによる協力をいただきました。内容として定例受け入れでは、作業補助、絵手紙、刺し子、売店販売補助などの行い行事関係では、四五行事、デザートテラス、地域コンサートなどお手伝いをいただきました。






### 月別ボランティア数及び内容

月	ボランティア 延べ人数	主な内容及び参加数
4	29名	・定例(2名) ・厚木市民吹奏楽団演奏会(27名)
5	24名	・定例(9名) ・地域交流レクリエーションDAY(6名) ・ふれあいフェスティバル(9名)
6	17名	・定例(16名) ・デザートテラス(1名)
7	25名	・定例(20名) ・夏まつり(5名)
8	4名	・定例(4名)
9	7名	・定例(7名) ・長寿の祝い(0名)
10	7名	・定例(4名) ・アモーレコンサート(0名) ・地域交流レクリエーションDAY(3名)
11	9名	・定例(9名)
12	4名	・定例(4名) ・クリスマス会(0名)
1	7名	・定例(7名)
2	12名	・定例(9名) ・デザートテラス(3名)
3	73名	・定例(14名) ・ボランティア懇談会(7名) ・荻野中学校演奏会(52名)
合計	218名	

## 6 福祉的就労







今年度は雇用した方はいませんでした。

## 7 共同生活援助事業 グループホーム

	①	②	③	④	⑤
写真					
ホーム名	グループホーム ゆめホーム	グループホーム はなホーム	グループホーム さくらホーム	グループホーム そらホーム	グループホーム あおぞらホーム
タイプ	2階一戸建	2階一戸建	2階一戸建	2階一戸建	平屋一戸建
開設年月	平成9年4月 平成17年3月 に移転	平成14年4月	平成14年12月	平成15年10月	平成18年10月
所在地	厚木市 鳶尾地区 4丁目	厚木市 鳶尾地区 4丁目	厚木市 鳶尾地区 4丁目	厚木市 鳶尾地区 4丁目	厚木市 鳶尾地区 4丁目
定員	4名+体験1名	6名	4名	5名	2名
入居者数	男性：3名 女性：1名	男性：5名 女性：1名	女性： 名	男性：4名 女性：1名	男性： 名 女性： 名
体験部屋	1				
家賃	35,000円	33,000円	32,000円	33,000円	30,000円
食費	14,100円	13,460円	12,230円	12,850円	5,250円
光熱水費	16,560円	10,250円	8,510円	12,700円	20,600円
日常生活品費	1,000円	1,000円	1,000円	1,000円	1,000円
援護地	厚木市 3名 小田原市 1名	厚木市 3名 川崎市 1名 愛川町 1名 秦野市 1名		横浜市 1名 小田原市 1名 藤沢市 1名 厚木市 1名 座間市 1名	
日中活動	福祉サービス4名 介護保険併用1名	福祉サービス6名 介護保険併用4名		福祉サービス5名 介護保険併用1名	
療育手帳	A2-2名 B1-2名	A1-2名 A2-2名 B1-2名		A2-5名	
障害支援 区分	区分2-1名 区分3-2名 区分4-1名	区分3-3名 区分4-1名 区分5-2名		区分3-1名 区分4-3名 区分5-1名	
支援体制 (時間)	(平日) 15:00~19:15  (休日) 10:45~19:15	(毎日) 6:00~9:00  (平日) 15:00~19:15  (休日) 10:45~19:15	(平日) 15:00~19:15  (休日) 10:45~19:15	(毎日) 6:00~9:00  (平日) 15:00~19:15  (休日) 10:45~19:15	(平日) 15:00~19:15  (休日) 10:45~19:15
夜間支援	夜勤支援員配置	夜間支援員巡回		夜間支援員巡回	

\* 利用者の高齢化および支援度の重度化、そして、建物の老朽化などに伴い、ハード面の整備を含め「ゆめホーム事業」の今後の展開を検討し再編成作業に着手しました。  
 \* 28年度は末の利用者の状況は、平均年齢67才(男性61才・女性73才)、平均支援区分4です。  
 \* 「めい」「すみれ」はバリアフリー設計であり、4名の方が車いす(うち1名は歩行器)を利用しています。



⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪
					
グループホーム メゾンゆり 平屋一戸建	グループホーム メゾンあやめ 平屋一戸建	グループホーム めいホーム 平屋一戸建	グループホーム ハイツすみれ 平屋一戸建	グループホーム いずみホーム 平屋一戸建	グループホーム ひのきホーム 平屋一戸建
平成19年7月	平成19年7月	平成20年10月	平成21年5月	平成22年5月	平成24年5月
厚木市 鳶尾地区 4丁目	厚木市 鳶尾地区 4丁目	厚木市 鳶尾地区 2丁目	厚木市 鳶尾地区 4丁目	厚木市 鳶尾地区 1丁目	厚木市 上荻野地区
3名	3名	5名	5名	5名	5名
女性： 名	女性：3名	女性：5名	女性：5名	女性：5名	男性：5名
26,000円	26,000円	36,000円	37,000円	38,000円	32,000円
11,470円	11,470円	10,310円	13,700円	14,090円	16,350円
7,240円	10,700円	10,430円	13,030円	11,300円	14,110円
1,000円	1,000円	1,000円	1,000円	1,000円	1,000円
	秦野市 1名 寒川町 1名 藤沢市 1名	厚木市 1名 秦野市 1名 茅ヶ崎市 1名 川崎市 2名	平塚市 1名 大和市 1名 座間市 1名 厚木市 1名 横浜市 1名	座間市 1名 川崎市 1名 町田市 1名 相模原市 1名 小田原市 1名	厚木市 3名 海老名市 1名 湯河原町 1名
	福祉サービス3名 介護保険併用1名	福祉サービス5名 介護保険併用4名	福祉サービス5名 介護保険併用4名	福祉サービス5名 介護保険併用3名	福祉サービス5名 介護保険併用1名
	A1-2名 B1-1名	A1-1名 A2-3名 B1-1名	A1-2名 A2-2名 B1-1名	A2-5名	A2-4名 B1-1名
	区分3-1名 区分4-1名 区分5-1名	区分4-2名 区分5-3名	区分3-1名 区分4-1名 区分5-1名 区分6-2名	区分3-2名 区分4-2名 区分6-1名	区分4-4名 区分5-1名
(毎日) 6:00~9:00  (平日) 15:00~19:15  (休日) 10:45~19:15	(毎日) 6:00~9:00  (平日) 15:00~19:15  (休日) 10:45~19:15	(平日) 15:00~19:15  (休日) 8:00~19:15	(平日) 15:00~19:15  (休日) 8:00~19:15	(平日) 15:00~19:15  (休日) 10:45~19:15	(平日) 15:00~19:15  (休日) 8:00~19:15
	夜間支援員巡回	夜勤支援員配置	夜勤支援員配置	夜勤支援員配置	夜勤支援員配置

\* 利用者の日中活動の場としてはも厚木精華園の生活介護事業(32名)、厚木精華園身体障害者等生活介護事業所(2名)、法人外の就労系サービス(12名)、また、2名の方が介護保険のデイサービスを利用しています。  
 \* 介護保険のサービスを併用している方は、19名であり、入浴支援、特養ショートステイ、介護用品貸与、デイサービス等を利用しています。  
 \* 成年後見制度の利用も推進しており、11名に成年後見人が選任されています。

## 8 相談支援事業所「ここから」

### (1) 概要

本事業所は指定特定相談支援事業所として指定を受け、これまで地域での高齢知的障害者支援を積み上げてきた厚木精華園の強みを活かし、他職種、とりわけ介護保険事業者（居宅事業所のケアマネージャー、地域包括支援センター等）との連携を強化し、地域包括ケア社会実現に向けた一翼を担いました。

昨年度、厚木市では、市の目指す「地域包括ケア社会の実現」のための一歩として基幹相談支援センターが設置され、相談支援事業所がそのもとに位置づけられ、相談支援体制が整備されました。そうした中で「ここから」では、厚木市の障害者相談支援事業の委託を受け、「障がいのある人が安心していきいきと生活できる環境づくり」を目標に相談事業を進めてきました。

相談件数をみると、担当地区は、睦合地区が外れ荻野地区のみとなりましたが、相談件数では、年間2,651件、月平均221件と、前年度に比べ6割増となっており、地区別では、荻野地区885件（約36%）、担当外となったものの、前年度から引き続き対応するケースが多く、睦合および睦合南地区は、589件（約24%）の実績でした。また、小鮎、緑ヶ丘地区334件（約13.5%）、南毛利地区259件（約13.5%）と、担当地区外からの相談も昨年度同様に多く寄せられました。

相談の内容に関しては、よりきめ細かい対応と他支援機関との連携を心掛けながら進めており、基幹相談支援センター、荻野地区包括支援センター、市社協、市障がい福祉課、生活福祉課、サービス提供事業所、医療機関の相談室などとの連携はより一層深まっており、特に、荻野地域包括支援センターとの連携では、高齢相談者と障がいが疑われるご家族へのアプローチをワンストップでおこなえるようになったのは大きな成果であり、「地域包括ケア社会の実現」に向けた取り組みとして、一定の実績をあげることができたと言えます。

また、家庭内暴力、自傷他害、経済的問題、医療的ケア、家族間関係性調整など、複雑な課題解決を求められるケースも多く、対応には、かなりのエネルギーを必要としました。

### (2) 具体的な内容

①相談件数 新規 184件 継続 2,467件 計 2,651件

\*相談方法

訪問 209件 来所 118件 電話等 2,244件 同行他 80件

\*障がい別

知的 921件 精神 400件 身体 1,428件 高次脳 746件

その他 670件 計 4,165件（※重複あり）

②計画相談 新規 21名 計画作成 76件 モニタリング 72件

③障害支援区分認定調査 47件実施

## IV 研修

### 1 研修報告

#### (1) 特別研修

医療や介護等の専門家をお招きして、知識を習得する研修として今年度は5回実施しました。

	日程	内容	参加人数
1	4月27日	「人権擁護研修」 ひやりはっと報告 津久井やまゆり園 入倉かおる園長	27名
2	5月31日	「交通安全講習」 交通安全協会職員	28名
3	7月27日	「栄養ケア計画について」 アシストワン	33名
4	9月28日	「人権研修」 旭児童ホーム 平本譲氏	48名
5	1月31日	「メンタルヘルス研修」 こころポ代表 宇野努氏	30名

#### (2) 非常勤研修

情報交換の場として又は知識習得の場として2回実施しました。

	日程	内容	参加人数
1	5月16日 5月18日 5月30日	「利用者さんの人権擁護について」 支援部長 長谷川正己、生活3課長 長尾健一	64名
2	10月24日	愛名やまゆり園見学	6名

#### (3) 救急救命講習

当園応急手当普及員による3時間の普通救命コース2回実施

	日程	内容	参加人数
1	6月2日 6月21日	普通救命講習	30名

#### (4) 基礎研修

自主的な発表や研修を企画し行う研修 今年度は3回実施

	日程	内容	参加人数
1	5月12日	「正しいおむつの当て方 使い方」 リブドゥコーポレーション リフレサポーター 鴨志田真希氏	4名

2	6月7日	「正しいおむつの当て方 使い方」 リブドゥコーポレーション リフレサポーター 鴨志田真希氏	7名
3	9月7日	「腰痛予防研修」 IMSグループ横浜旭中央総合病院 リハビリテーションセンター 角田信夫氏	19名

#### (5) 高齢者支援セミナー

高齢者の支援に関するセミナーとして厚木精華園が主催し年間12回実施しました。平成28年度は「高齢者を知る」をテーマに開催し 35団体の登録があります。

	日程	テーマ	講師	参加人数
1	4月13日	「高齢者とは」	厚木精華園 看護課課長 福岡君代	13施設 19名
2	5月18日	「高齢知的障害者 グループホーム紹介と見学」	厚木精華園 地域生活支援課 城所悟史	20施設 28名
3	6月24日	「高齢研」合同研修会 利用者の高齢化に伴う夜間支援 のあり方～課題とその対策～	パネルディスカッション	25施設 45名
4	7月20日	「移動、移乗介助の実際」	厚木精華園 理学療法士 猪熊愛氏	21施設 36名
5	8月17日	「摂食嚥下」	東名厚木病院 摂食嚥下療法科 芳村直美氏	18施設 29名
6	9月21日	「口腔ケア」	厚木市歯科医師会 安達吉嗣氏	18施設 27名
7	10月19日	「成年後見制度」	えびな ソーシャルワークオフィス 北尾 亮氏	15施設 23名
8	11月9日	「高齢研」合同研修会	パネルディスカッション	16施設 29名
9	12月21日	「移行支援」	厚木精華園 相談研修課 中込実穂	16施設 18名
10	1月18日	「利用者を見送る支援」	エム心理相談オフィス 所長諏訪部政好氏	14施設 18名
11	2月15日	「高齢者の口腔ケア」	厚木精華園 生活1課 田口尚美	13施設 22名

12	3月15日	「終末期支援プロジェクトの取組み」	厚木精華園 生活2課 田中千香子	16施設 28名
----	-------	-------------------	------------------------	-------------

(6) 外部発表

高齢者の支援に関する外部発表を年間6回行いました。

	日程	テーマ	発表者	研修開催先
1	5月19日	「成年後見制度について」	地域支援部長 今井幸世	厚木市手をつなぐ育成会
2	6月15日	「高齢化に伴う夜間支援の現状と課題」	生活2課主任 加藤伸明	神奈川県知的障害高齢者問題研究会
3	7月16日	「厚木精華園実践報告」	地域支援部長 今井幸世	中井やまゆり園 家族会
4	7月25日	「厚木精華園実践報告」	地域支援部長 今井幸世	桜美林大学
5	11月25日	「厚木精華園実践報告」	地域支援部長 今井幸世	調布市社会福祉協議会
6	1月23日	「厚木精華園実践報告」	地域支援部長 今井幸世	桜美林大学

平成28年度 かながわ共同会研修実績表

事業名	管理者研修	監督者研修	中堅Ⅱ研修		中堅Ⅰ研修	
テーマ	『障害者差別解消法と合理的配慮・意思決定支援の理解』『組織人としてのあり方』	『障害者差別解消法と合理的配慮・意思決定支援の理解』『組織人としてのあり方』	『障害者差別解消法と合理的配慮・意思決定支援の理解』『組織人としてのあり方』	『障害者差別解消法と合理的配慮・意思決定支援の理解』『組織人としてのあり方』	『障害者差別解消法と合理的配慮・意思決定支援の理解』『組織人としてのあり方』	『障害者差別解消法と合理的配慮・意思決定支援の理解』『組織人としてのあり方』
開催日	①9/16、②9/23	①6/24、②7/8	①7/1、④11/25、⑤1/20	②9/30、③10/21、⑤12/9	①6/14、④11/8、⑤1/27	②7/15、③10/4
会場	①・②厚木精華園	①津久井やまゆり園 ②厚木精華園	①泉野精華園、④厚木精華園	①愛名やまゆり園、③泉野精華園、④厚木精華園	①厚木精華園、④愛名やまゆり園、⑤泉野精華園	②・③厚木精華園
内容	講義・演習「評価者研修」(課長・部長分けてのグループワーク)	(1) 講義:「組織人としてのあり方」 (2) 講義:「アンガーマネジメント」	(1) 講義:「組織人としてのあり方」 (2) 講義:「差別解消法・合理的配慮」 (3) 演習:「モチベーションアップ」	(1) 講義:「組織人としてのあり方」 (2) 講義:「差別解消法・合理的配慮」 (3) 演習:「組織人としてのあり方」	(1) 講義:「組織人としてのあり方」 (2) 講義:「意思決定支援・差別解消法」 (3) 演習:「リスクマネジメント」	(1) 講義:「組織人としてのあり方」 (2) 講義:「意思決定支援・差別解消法」 (3) 演習:「説明・説明力向上」
講師	株式会社クリエイト 講師 田上 和徳 氏	(1) ①津久井やまゆり園 指導員 守 民夫 ②厚木精華園 地域支援部長 今井 幸也 (2) 社会福祉法人みずき福祉会 理事長 田中 健二 ③セラルマナー・ジャー 阿部 貴樹 氏	(1) ①泉野精華園 地域支援部長 松本 邦子 (2) DPJ 本会議 笹本 晋 氏 (3) 話し方教育センター 井田 慶典 氏	(1) ①愛名やまゆり園 支援部長 小池 登一 ②泉野精華園 総務部長 永井 清光 (2) DPJ 本会議 崔榮 崇 氏 (3) 法人事務局 統括管理室 山根 文江	(1) ①津久井やまゆり園 支援部長 山田 智樹 ②愛名やまゆり園 地域支援部長 根本 邦弘 (2) ①・④ 湘南短期大学 教授 鈴木 敏 彦 氏 ⑤ DPJ 本会議 議長 橋本 健 彦 氏 (3) ①・④ (株) JIC 鈴木 敏 彦 氏	(1) ①泉野精華園 地域支援部長 佐藤 和也 ②愛名やまゆり園 地域支援部長 水野 野 祐司 (2) DPJ 本会議 議長 尾上 浩 二 氏 ③ 湘南短期大学 鈴木 敏 彦 氏 (3) ②・③ 話し方教育センター 佐藤 敏 子 氏
対象者	部長・課長	主任職員	能力開発期Ⅲ・能力開発期Ⅳ	能力開発期Ⅲ・能力開発期Ⅳ	能力開発期Ⅰ・能力開発期Ⅱ	能力開発期Ⅰ・能力開発期Ⅱ
参加人数	①28名、②32名	①24名②42名	①24名、②29名、③30名	②21名、③18名、⑤21名	①19名、④21名・⑤1名、⑥23名	②24名、③25名
事業名	新採用職員研修	平成28年度主任資格者人事考課制度第一次評価者研修対象者	平成28年度課長資格者人事考課制度評価者研修	採用前研修 (1回目)	採用前研修 (2回目)	採用前研修 (3回目)
テーマ	『障害者差別解消法と合理的配慮・意思決定支援の理解』『組織人としてのあり方』	人事考課 第一次評価を行うにあたっての留意点	人事考課 評価を行うにあたっての留意点	法人職員としての意識改革と基礎的な姿勢についての習得を図る。	法人職員としての意識改革と基礎的な姿勢についての習得を図る。	法人職員としての意識改革と基礎的な姿勢についての習得を図る。
開催日	6/14	4/27	5/6	2/17	3/2~3/3	3/14
会場	愛名やまゆり園	津久井やまゆり園	法人事務局	法人事務局・厚木精華園	東京・品川	厚木精華園
内容	(1) 講義:「組織人としてのあり方」 (2) 講義:「知的障害当事者の思いと支援者の視点」 (3) 講義・演習 「ストレス」の視点にたった個別支援計画書	・人事考課の手引き ・評価に当たっての留意点	・人事考課の手引き ・評価に当たっての留意点	(1) 理事長講話 (2) 人事課より (3) 口コミ食談会 (4) 労働衛生講話 (5) 福祉施設職員としての心構え (6) 施設見学 (厚木精華園、GH)	社会人のための 挨拶＆マナー研修 2日コース (派遣研修)	(1) 理事長講話 (2) 人事課より (3) 労働衛生講話 (4) 組織の一員として (5) 心肺蘇生法・AED使用訓練
講師	(1) 法人事務局 企画研修部 企画研修課 課長 松尾 俊彦 (2) 社会福祉法人十層会 代表 理事 田中 浩二 氏 (3) 愛名やまゆり園 支援部長 小池 登一	法人事務局総務部人事課 課長 白川 淳 法人事務局企画研修部企画研修課 課長 松尾 俊彦	法人事務局総務部人事課 課長 白川 淳 法人事務局企画研修部企画研修課 課長 松尾 俊彦	(1) 米山 勝彦 理事長 (2) 法人事務局人事課 (3) 厚木精華園 兼 泉野精華園 中野 博 (4) 厚木精華園 相談研修課 主任 中込 英 樹 (5) 法人事務局企画研修課 課長 松尾 俊彦	ANA ビジネスソリューション 株式会社	(1) 米山 勝彦 理事長 (2) 法人事務局人事課 主任 中込 英 樹 (3) 厚木精華園 相談研修課 主任 中込 英 樹 (4) 法人事務局企画研修課 主任 飯沼 一 法人事務局企画研修課 課長 松尾 俊彦
対象者	平成28年度新採用職員	平成28年度主任資格者	平成28年度課長資格者	平成29年度採用内定者 (新卒)	平成29年度採用内定者 (新卒)	平成29年度採用内定者 (中途)
参加人数	18名	10名	6名	1名	1名	4名
事業名	研究活動援助事業報告会	体験交流セミナー	海外研修	第11回 人権フォーラムかながわ21	四国交換研修	ハラスメント防止研修⑤
テーマ	職員が専門職として自らの資質向上を目指す。	『障害者支援の検証と情報の共有 そして実践へ』	海外の社会福祉実践を学び、自らの実践を振り返る機会とし、より優れた実践の担い手として成長し、日常の業務に生かしていくことができる人材を育成する。			ハラスメントの基本 ハラスメントの防止
開催日	6/10	12/2	6/27~7/2 (6日誌)			10/17・11/29
会場	厚木精華園	泉野精華園 体育館	ドイツ (ハノーバー・ビーレフェルト)			泉野精華園
内容	報告書「厚木精華園 大塚 功 氏 「介助力向上の努力」-厚木精華園 活動1年目の取り組み- 12年目の取り組み- 厚木精華園 中野 博 氏 「障害者の権利は他と同等-からず、むしろ、自らの向上を目指して努力の成果を上げたい」という思いが、障害者の権利を保障するものとなることを目指す。」「 報告書「厚木精華園 中野 博 氏 「障害者の権利は他と同等-からず、むしろ、自らの向上を目指して努力の成果を上げたい」という思いが、障害者の権利を保障するものとなることを目指す。」「 報告書「厚木精華園 中野 博 氏 「障害者の権利は他と同等-からず、むしろ、自らの向上を目指して努力の成果を上げたい」という思いが、障害者の権利を保障するものとなることを目指す。」「	1) 泉野精華園「UV」のこれまでの取り組みと今後の展望について 発表者: 泉野精華園 地域支援部長 伊勢 新市 泉野精華園 地域生活介護事業所 中田 新吾 2) 厚木精華園「利用者の退院後生活への支援」について 発表者: 厚木精華園 支援部 生活1課・2課 辻野 子、橋本 史実・米山 道人・志村 隆彦 3) 愛名やまゆり園「厚木市障がい者支援センター」の役割、機能、取組みについて 発表者: 愛名やまゆり園 企画研修課 支援センター 栗原 大 4) 泉野精華園「東海大学協働プロジェクト「ハンズ」ラポール」活動報告 発表者: 泉野精華園 支援部 チャレンジセンター 阿部 浩・濱田 慎子	ドイツ精神医療機関の旅行〜ベテランの活動から学ぶ総合的な障害福祉〜 津久井やまゆり園 日中支援課 竹中 洋	28年度中止	28年度中止	講義: ハラスメントの基本知識 演習: グループワーク (事例検討)
講師						公益財団法人横浜市男女共同参画推進協会 相談センター 大竹 弥生 氏
対象者	法人職員	法人職員、他	希望者より選考			法人職員
参加人数	44名	107名	1名			15名・20名

平成28年度 かながわ共同会研修実績表

事業名	ハラスメント防止研修会	メンタルヘルス研修	メンタルヘルス研修	メンタルヘルス研修	メンタルヘルス研修	メンタルヘルス研修
テーマ	相談窓口担当者	ラインケア	セルフケア	セルフケア	セルフケア	セルフケア (PTSDについて)
開催日	11/11	①1/23、②2/6	12/14	①1/18、②1/31	2/14	①10/3、②10/7、③11/9
会場	泉野精華園	①②厚木精華園	泉野精華園	①②厚木精華園	愛名やまゆり園	①②津久井やまゆり園 ③分園
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義：ハラスメントの知識の再確認</li> <li>・演習：模擬訓練</li> <li>・ロールプレイ (3事例)</li> <li>・相談担当者のセルフケア</li> </ul>	講義・演習「メンタルマネジメント研修」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・セルフケア</li> <li>・メンタルマネジメント理論</li> <li>・メンタルマネジメント実践</li> </ul>	みんなの笑顔の為に～組織人としてどう動くか～	①ストレスマネジメントについて ②対人援助のメンタルヘルス・スツキリ解決！～たった2分で思いが断絶に変わる方法～	ストレスケア ストレスチェックについて	①②③人は極めて大きなストレスが加わるとうなるか (異常な状況の中での正常な反応)
講師	公益財団法人横浜市男女共同参画推進協会 相談センター 大竹 弥生 氏	株式会社HRアセスト 取締役 濱崎 明子 氏	子ども子育てラボラトリー 宇野 務 氏	①めづきヒアソウウェーショ ンパートナー 荒木田和子 氏 ②子ども子育てラボラト リー 宇野 務 氏	愛光病院 大高 正光 氏	神奈川県立精神保健医療センター 所長 山田 正夫氏
対象者	ハラスメント相談窓口担当者	部長・課長級	泉野精華園職員	厚木精華園 職員	愛名やまゆり園 職員	津久井やまゆり園 職員
参加人数	9名	①28名、②29名	37名	①8名、②30名	19名	①23名、②13名、③15名

事業名	メンタルヘルス研修	世話人研修 (法人グループホーム運営会主催)
テーマ	セルフケア (ストレスマネジメント)	意思決定
開催日	①12/3、②2/6	12/19
会場	①②津久井やまゆり園	厚木精華園
内容	①ストレスについて知ろう ②ストレスマネジメントのための マインドフルネス	講義：障害者の意思決定における 世話人の役割 【午前、午後 2回に分けて実施】
講師	①神奈川県精神医療センター 瀬戸正有 氏、赤坂三恵氏 ②神奈川県精神医療センター 中室容子氏、渡部純子氏	和泉短期大学 児童福祉学科 教授 鈴木敬彦氏
対象者	津久井やまゆり園職員	法人 世話人
参加人数	①17名、②10名	①45名、②22名 計67名

各園開催

事業名	オープンセミナー	オープンセミナー	オープンセミナー	オープンセミナー
テーマ	「嚥下のメカニズムと支援について」	「高齢知的障害者の支援」	「高齢者の口腔ケア」	「発達障害支援・アセスメント」
開催日	11/21	H29 1/14	H29 1/19	H29 2/20
会場	津久井やまゆり園 会議室	愛名やまゆり園 体育館	厚木精華園 会議室	泉野精華園 会議室
内容	講義：「知的障害者に対する食事支援～おいしく、楽しく、心豊かな食生活のためのポイントと考え方～」	講義：「高齢知的障害者の支援について～初老・高齢期の知的障害者支援の4つの課題～」	講義：「高齢者の口腔ケアについて」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者就業・生活支援センターの役割</li> <li>・他事業所との連携で求められるもの</li> <li>・発達障害者支援の事例報告</li> </ul>
講師	日本大学歯学部教授 榎本健雄 法学講座 歯学博士：植田新一郎氏	国立のぞみの園事業企画局研究部 部長 志賀 利一氏	すわ歯科医院 院長 諏訪 宏氏 歯科衛生士 今西 香苗氏	社会福祉法人 よるべ会 障害者支援センター 塚ヶつと 恵蔵 幸一 氏
対象者	園内職員、法人内職員、その他希望の方	園内職員、法人内職員、その他希望の方	園内職員、法人内職員、その他希望の方	園内職員、法人内職員、その他希望の方
参加人数	23名	60名	16名	25名



## 2 実習生・研修生受入れ

### (1) 実習・研修等受入れ計画

研修種別	開催予定	受入れ予定人数	備考
保育士、社会福祉士、社会福祉主事、介護福祉士養成	通年	概ね20名程度	
教員施設体験研修	随時	未定	
教員免許特例法 介護体験研修	随時	15名	
障害福祉施設職員研修	随時	未定	

### (2) 実習・研修等受入れ実績

保育実習		受入れ人数	受入延べ日数
1	国学院大学	3	22
2	鶴見大学短期大学部	2	22
3	鎌倉女子大学短期大学部	2	22
4	聖セシリア女子短期大学	1	12
5	聖ヶ丘教育専門学校	1	11
6	和泉短期大学	2	22
7	湘北短期大学	2	24

社会福祉士		受入れ人数	受入延べ日数
8	田園調布学園大学	2	48

教員免許特例法		受入れ人数	受入延べ日数
9	関東学院大学	2	20

計 9機関		16	203
-------	--	----	-----



## V 家族会活動

月に1回、定期的に開催されました。午前中に四役会議（家族会から会長、副会長、会計、書記、園より、園長、支援部長参加）、役員会（四役会議参加者及び各課家族会幹事参加）が開催され、午後には、全体会と課別懇談会が開催されました。

また6月は親睦日帰り旅行、8月はお墓参りと盂蘭盆会法要、10月は寅次郎アモーレコンサートに参加しました。3月は体育館で春の宴を開催しました。

### 家族会実施状況

日程		内容	その他
28年4月10日(日)	PM	全体会・課別懇談会	役員会あり
5月8日(日)	PM	総会	役員会あり
6月12日(日)	AM~	日帰り旅行	
7月10日(日)	PM	全体会・課別懇談会	役員会あり
8月7日(日)	PM	盂蘭盆会法要・全体会・課別懇談会	役員会あり
9月25日(日)	PM	全体会・課別懇談会	役員会あり
10月8日(日)	PM	寅次郎アモーレコンサート	
11月13日(日)	PM	全体会・課別懇談会	役員会あり
12月11日(日)	PM	全体会・法人後見に関する研修会	役員会あり
29年1月15日(日)	PM	全体会・第三者委員との懇談会・課別懇談会	役員会あり
2月12日(日)	PM	全体会・課別懇談会	
3月13日(日)	PM	全体会・春の宴	役員会あり

## VI 後援会活動

### <年間事業報告>

- ・平成28年4月22日 後援会役員会
  - ① 平成27年度事業実施状況について
  - ② 平成27年度収支決算書について
  - ③ 平成27年度監査報告について
  - ④ 平成28年度事業計画（案）について
  - ⑤ 平成28年度収支予算（案）について
  - ⑥ その他
- ・平成28年 6月24日 第1回デザートテラス（94名参加）
- ・平成28年 7月13日 夏まつり2016
- ・平成28年 9月 7日 長寿の祝い
- ・平成28年 9月16日 臨時後援会役員会（津久井やまゆり園事件報告）
- ・平成28年10月 8日 寅次郎アモーレコンサート
- ・平成29年 2月 8日 第2回デザートテラス（102名参加）
- ・平成29年 3月10日 役員会開催
  - ・喫茶プティ開催（7回）
  - ・寿司プティ開催（2回）

### <補助事業>

- 1 行事等各種事業への補助
  - ① 行事補助（夏祭り・長寿の祝）
  - ② 人権擁護活動への補助（厚木地区オンブズマンネットワーク会費）
  - ③ 寅次郎アモーレコンサート開催補助
  - ④ ボランティア交通費補助
  - ⑤ プティへの補助
  
- 2 施設設備への補助
  - ① テント2張り
  - ② 家庭用綿菓子
  
- 3 後援会の発展及び事業の推進
  - ① 会員への各種案内の発送
  - ② 窓口にて後援会の入会及び事業内容の案内

## VII その他

1 平成28年度運営状況(実績)

(平成29年3月31日現在)

(1) 指定管理事業の実績

(名)

			上半期実績	下半期実績	年間実績
障害者 支援 施設	施設入所支援	定員	110	110	110
		延べ人数	19,209	19,750	38,959
	生活介護	定員	140	140	140
		延べ人数	17,239	17,055	34,294
短期入所		定員	2	2	2
		延べ人数	417	235	652
		稼働率	114%	65%	89%

※短期入所は空床型の実施を含む

(2) 障害支援区分

(名)

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
施設入所	0	0	5	13	31	62	111
生活介護	0	1	9	25	38	74	147

(3) 日中一時支援事業

(名)

区分		H27年度 延べ人数	H28年度 延べ人数
児童	男性		
	女性		
	計		
成人	男性	6	0
	女性	67	38
	計	73	38

(4) 自主事業の状況

ア グループホーム入居者(11ヶ所)

(名)

区分	入居者数	平均年齢	1人あたり平均			日中活動			入所前		
			居室面積(畳)	利用料(食費含月額)	収入(年金含月額)	園内通所	園外通所	就労	自施設	在宅	その他
男	16	61.1	6	65,709	79,801	8	10	0	4	10	2
女	22	72.5	6	62,065	76,596	17	6	0	11	4	7
計	38	67.7	6	63,731	78,030	25	16	0	15	14	9

※重複者あり

イ 厚木身体障害者等生活介護事業所

(名)

生活介護	年度	H27年度	H28年度
	定員	20	20
	延べ人数	3,055	3,302

ウ サービス等利用計画作成

(件)

	H27年度	H28年度	厚木市	清川村	座間市	秦野市	他市町村
件数	73	76	44	0	1	5	26

(3) その他

ア 障害者雇用

(名)

区分		H27年度	H28年度
障害者雇用	男	1	1
	女	2	1
	計	3	2

イ 実習生受入

(名)

区分	H27年度	H28年度
実人数	50	18

ウ ボランティア受入

(名)

区分	H27年度	H28年度
延べ人数	217	256

エ 見学者受入

(名)

区分	H27年度	H28年度
延べ人数	366	49

オ 養護学校実習生受入

(名)

区分	H27年度	H28年度
延べ人数	2	3

2 厚木精華園の経営状況

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

事業活動内訳表

(単位：円)

		サービス区分							今年度決算額	
サービス活動増減の部	収益	就労支援事業	障害福祉サービス	療養経費	その他	寄附金	業務収入	事業収入	益	1,011,009,884
		医療	経費	その他	寄附金	業務収入	事業収入	益	19,695,649	
		その他	経費	その他	寄附金	業務収入	事業収入	益	600,000	
		サービス活動増減の部	収益	費用	差	額	計		1,031,305,533	
		サービス活動増減の部	費用	費用	費用	費用	費用	費用	費用	664,859,344
	費用	就労支援	労働者	支者	援負	事担	業軽	費減	費用	122,802,730
		減額	補助金	等	特別	積立	却金	取崩	額	11,992,174
		徴収	補助金	等	特別	積立	却金	取崩	額	△ 1,192,230
		サービス活動増減の部	費用	費用	費用	費用	費用	費用	費用	124,900,573
		サービス活動増減の部	費用	費用	費用	費用	費用	費用	費用	計 923,362,591
									107,942,942	
サービス活動外増減の部	収益	借入金	利息	補助金	配当	証券	証券	証券	証券	5
		有価証券	有価証券	有価証券	有価証券	有価証券	有価証券	有価証券	有価証券	
		有価証券	有価証券	有価証券	有価証券	有価証券	有価証券	有価証券	有価証券	
		サービス活動外増減の部	収益	費用	差	額	計		9,487,959	
		サービス活動外増減の部	費用	費用	費用	費用	費用	費用	費用	9,487,964
	費用	支有有投	有価証券	有価証券	有価証券	有価証券	有価証券	有価証券	有価証券	
		有価証券	有価証券	有価証券	有価証券	有価証券	有価証券	有価証券	有価証券	
		有価証券	有価証券	有価証券	有価証券	有価証券	有価証券	有価証券	有価証券	
		サービス活動外増減の部	費用	費用	費用	費用	費用	費用	費用	6,347,651
		サービス活動外増減の部	費用	費用	費用	費用	費用	費用	費用	計 6,347,651
									3,140,313	
経常増減差額										111,083,255
特別増減の部	収益	施設整備	設備整備	等	補助金	補助金	補助金	補助金	補助金	
		長期運営	固定資産	区分	間	間	間	間	間	
		固定資産	区分	間	間	間	間	間	間	
		特別増減の部	収益	費用	差	額	計		4,649	
		特別増減の部	費用	費用	費用	費用	費用	費用	費用	4,651
	費用	基金	定額	補助金	等	特別	積立	取崩	額	763,727
		基金	定額	補助金	等	特別	積立	取崩	額	△ 290,644
		基金	定額	補助金	等	特別	積立	取崩	額	
		特別増減の部	費用	費用	費用	費用	費用	費用	費用	79,738,561
		特別増減の部	費用	費用	費用	費用	費用	費用	費用	計 1
									7,174,833	
特別増減差額										87,386,478
当期活動増減差額										△ 87,381,827
繰越活動増減差額の部	前期繰越	期末繰越	前期繰越	期末繰越	前期繰越	期末繰越	前期繰越	期末繰越	前期繰越	23,701,428
	前期繰越	期末繰越	前期繰越	期末繰越	前期繰越	期末繰越	前期繰越	期末繰越	前期繰越	314,477,050
	前期繰越	期末繰越	前期繰越	期末繰越	前期繰越	期末繰越	前期繰越	期末繰越	前期繰越	338,178,478
	前期繰越	期末繰越	前期繰越	期末繰越	前期繰越	期末繰越	前期繰越	期末繰越	前期繰越	5,000,000
	前期繰越	期末繰越	前期繰越	期末繰越	前期繰越	期末繰越	前期繰越	期末繰越	前期繰越	333,178,478

### 3 地域サービス事業取り組み状況

指定管理事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>①専門スタッフ地域巡回支援事業</li> <li>②地域交流支援事業</li> <li>③地域防災拠点施設事業</li> <li>④特別援護支援事業</li> <li>⑤地域社会参加支援事業</li> </ul>
事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>①理学療法士や看護師、相談支援員が事業所を訪問し、医療的ケアの最新情報や支援技術についての情報提供及び機能訓練等を行い、在宅・地域生活を支えていく。 地域の住民、福祉関係職員、家族等を対象に、有資格者の職員を派遣し一次救命救急処置研修会を実施する。</li> <li>②地域の住民や在宅障害者を対象にコンサート等を開催し、障害者理解を深め交流を図るに備えた準備を進める。</li> <li>③地域防災の拠点施設として、防災計画の推進を行い、非常食・防災備蓄等を備え、地域住民参加で炊き出し訓練を実施する。</li> <li>④矯正施設退所者や被虐待障害者等の支援に関する研修、対象者の受入れ体制を整備する。</li> <li>⑤障害者に対する理解促進及び共に支えあう地域を構築することを目的として地域の高齢者も対象とし、余暇活動を実施する。</li> </ul>
取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>①理学療法士の派遣を近隣施設等に年間19回派遣した。 地域の住民、福祉関係職員等を対象に有資格の職員を派遣し、応急手当、気道異物除去心肺蘇生法、AED訓練等を2回実施した。</li> <li>②地域住民や在宅障害者を対象にコンサート年間2回実施し、約250名参加した。障害者理解を深め、交流を図るためにボランティアと利用者交流会を年間2回実施し25名参加した。</li> <li>③荻野地区の防災体制構築に向けての話し合いを各関係機関と連携し7回の協議の場を設定した。</li> <li>④矯正施設退所者の支援について神奈川県地域定着支援センターと連携し訪問面談等を実施し1名を新規一般入所として受入れる。</li> <li>⑤近隣住民と共に「お達者クラブ」という余暇活動を6月に計画するが参加者が少なく中止しました。7月には桃狩りを計画したが諸事情により見合わせました。</li> </ul>

\*厚木精華園は、地方自治法による指定管理者施設として神奈川県からの指導を受けています。

所管 神奈川県保健福祉局 福祉部障害福祉課  
電話 045-210-1111(代表)

平成28年度  
社会福祉法人かながわ共同会  
厚木精華園 事業概要

平成29年9月発行

発行者 社会福祉法人かながわ共同会 厚木精華園

園長 平嶺 一昭

〒243-0201 厚木市上荻野4835-1

電話 046-291-0780

FAX 046-291-0949

[atsugi@kyoudoukai.jp](mailto:atsugi@kyoudoukai.jp)

<http://www.kyoudoukai.jp/atsugi/>



社会福祉法人 かながわ共同会

厚木精華園 厚木市上荻野4835-1 電話 046-291-0780